岡山理科大学学則

第１章　総　　則

（目的）

第１条　岡山理科大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づき、学術の理論及び応用を研究教授するとともに、豊かな人間性と創造的知性を備えた人材を育成して、学術文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己点検・評価）

第１条の２　本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するために、教育研究活動などの状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

２　自己点検及び評価に関し必要な事項は、別に定める。

（学部、学科及び学生定員）

第２条　本大学に次の学部及び学科を置き、学生定員を次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員（３年次）	収容定員
理学部			
応用数学科	110 名		440 名
基礎理学科	90 名		360 名
物理学科	45 名		180 名
化学科	70 名		280 名
動物学科	45 名		180 名
工学部			
機械システム工学科	90 名		360 名
電気電子システム学科	70 名		280 名
情報工学科	75 名		300 名
応用化学科	55 名		220 名
建築学科	75 名	５名	310 名
情報理工学部			
情報理工学科	210 名		840 名
生命科学部			
生物科学科	165 名		660 名
医療技術学科	70 名		280 名
生物地球学部			
生物地球学科	120 名		480 名
恐竜学科	45 名		180 名
教育学部			
初等教育学科	60 名		240 名
中等教育学科	50 名		200 名
経営学部			
経営学科	160 名		640 名
獣医学部			
獣医学科	140 名		840 名
獣医保健看護学科	70 名		280 名

（アクティブラーナーズコース）

第２条の２　本学に、クロスカリキュラム型の教育を行うためのコースとしてアクティブラーナーズコースを置く。

２　アクティブラーナーズコースに関する規程は別に定める。

（学部及び学科の教育研究上の目的）

第２条の３　学部及び学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を次のとおりとする。

（１）理学部は、人間・社会・地球環境を念頭に置いた幅広い一般教養・社会常識を背景にして、真理に対する深い感動と畏敬をもって自然科学の基礎知識を習得し、社会で実践する能力を有する人材の養成を目的とする。

ア　応用数学科は、数学の理論と応用の両面を基礎から体系的に教育することにより、問題解決のための数理的な思考力・応用力・情報技術を身につけ、教育や情報社会に広く貢献できる人材の養成を目的とする。
イ　基礎理学科は、自然科学、数理科学、情報科学の基礎的総合的学習と、複数の分野が融合する学際領域の研究体験を通して、教育界や産業界など各界で実践的に活躍できる人材の養成を目的とする。
ウ　物理学科は、科学技術の基礎となる物理学・応用物理学の基幹分野を体系的に学習し、数理的解析法と実験計測法の修得を通じて、理工学分野にて幅広く活用できる科学的思考力・分析力・創造力を有した人材の養成を目的とする。
エ　化学科は、学生と社会のニーズに対応した多様なカリキュラムにより、化学を中心とした高度な知識と技術を習得させ化学に関連した分野で活躍する技術者や研究者及び理科教育に携わる人材の養成を目的とする。
オ　動物学科は、理学の根源的な知的好奇心に発する、広く深い博物学・基礎生物学の伝統に根ざして、人間社会と自然の調和を図り、持続可能な人類の未来創造のための基礎や応用を築く人材の養成を目的とする。

（2）工学部は、ものづくりに必要な知識と技能を修得し、他の人と協働してそれらを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、科学技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
ア　機械システム工学科は、進歩の著しいものづくり社会に対応できるよう、基礎となる知識の修得とそれを応用する能力を身につけ、人と自然に優しい機械システムを構築できる創造性のあるエンジニアの養成を目的とする。
イ　電気電子システム学科は、「エネルギー」と「情報」を対象に「エレクトロニクス」を手段として扱う電気電子工学の分野の幅広い領域にわたる教育研究を通して、問題解決能力、柔軟で総合的な判断力、グローバルな視野からの発想力、論理的思考力、自己の考えの伝達力などを身に付けた電気電子技術者の養成を目的とする。
ウ　情報工学科は、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークを含む情報システムに関する知識と技能を教授し、システム構築のための実験実習による教育や技術発展を目指した研究を通して思考力や判断力を身につけさせ、情報化社会の基幹専門分野で活躍できる主体性と倫理観を備えた人材の養成を目的とする。
エ　応用化学科は、化学と生物学の基礎を十分に修得した上で、「応用化学」と「バイオテクノロジー」を中心とする学際的な教育と研究を通して、幅広い専門的な知識と技能を有し、かつ、環境や社会への影響を考慮して自ら発想し、構想し、行動する能力を身につけた人材の養成を目的とする。
オ　建築学科は、建築・まちづくりに必要な知識と技能を修得し、協働してそれを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、建築技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

（3）情報理工学部は、情報技術を核として社会にある問題を発見・分析し、新たな知見を得ることや情報システム開発、センサやロボット技術などを用いたシステム開発を行うことにより、人間の持つ様々な機能を拡張し、人に優しい社会を目指すことのできる人材の養成を目的とする。
ア　情報理工学科は、情報技術を核として社会にある問題を発見・分析し、新たな知見を得ることや情報システム開発、センサやロボット技術などを用いたシステム開発を行うことにより、人間の持つ様々な機能を拡張し、人に優しい社会を目指すことのできる人材の養成を目的とする。

（4）生命科学部は、生命科学の基礎知識を体系的に理解し、それを応用したバイオテクノロジーの専門知識と技能を実践的に修得することで、自ら発想し行動する能力を身につけ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の養成を目的とする。
ア　生物科学科は、現代の人類を取り巻く食糧や環境問題を解決するために、資源消費型から持続可能な循環型のものづくりへと変わる必要があることを鑑み、生命科学を基礎とする幅広い分野を学ぶ基盤部分と、食糧・環境・医療と健康の分野において、より深い専門技術を習得できる発展部分からなる教育研究を行うことで、環境と調和した豊かな暮らしを実現する技術開発に貢献しうる人材の養成を目的とする。
イ　医療技術学科は、生命科学の基礎を学び、生物学と化学あるいは生物学と物理学を基盤とした確かな学問的能力を形成し、実践的な学問として臨床検査学あるいは臨床工学を体系的に学ぶことで、EBM（Evidence-Based Medicine:根拠に基づく医療）を理解し実践する力を培い、さらに自主的学修を習慣化しそのスキルを身につけることで、医療人としての誇りを醸成し卒業後も研鑽を重ねて生涯学び続けることができる人材の養成を目的とする。

（5）生物地球学部は、生物学・地球科学・天文学・地理学・考古学・古生物学に関わる幅広い学際的な分野を体系的に習得することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな要因により複雑化した現代社会の諸問題の解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
ア　生物地球学科は、生物学・地球科学・天文学・地理学・考古学に関わる幅広い学際的な分野を体系的に習得することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな要因により複雑化した現代社会の諸問題の解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
イ　恐竜学科は、生物学と地質学の学際領域である恐竜を中心とする古生物学に関わる幅広い分野を体系的に習得することにより、古生物学的視点を通して、生物多様性や地球表層環境の変化など、現代社会の諸問題を認識し、持続可能社会の実現へ貢献できる観察力や判断力、実行力を持ち、その解決策を提示できる人材の養成を目的とする。

（6）　教育学部は、教育に関する基礎理論及び初等・中等教育の各教科内容と指導法の研究を通じて、教育の本質を深く理解し、児童・生徒への豊かな教育的愛情をもち、変動する社会の中で確かな使命感をもって教育に携わり、さまざまな教育課題に真摯に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。
ア　初等教育学科は、理科教育の重要性を認識し、小学校教員としての強い使命感、熱意、教育的愛情をもち、同僚と組織的に協働し、家庭・地域と連携して教育に取り組み、子どもや保護者、地域社会から信頼され、学び続ける姿勢と実践的指導力を備えた人材の養成を目的とする。
イ　中等教育学科は、幅広い教養と教育学を基礎に、国語・英語の運用能力並びに教科の内容と指導法を系統的に修得し、現代社会やグローバル社会の情勢に強い関心と探究のまなざしを向け、人々の関わり（コミュニケーション）の基盤となる言語の力を次代に引き継ぐ確かな使命感と指導力を備えた人材の養成を目的とする。

（7）経営学部は、広義のマネジメントに関する社会諸科学の学びを通して、体系的な理論教育と応用的な実践教育の融合を追究する教育を実践することで、複雑化・国際化が加速する現代社会に対する理解力とクリエイティブな力を身につけ、問題発見・解決能力を養い、高めていくことを教育研究上の目的とする。

ア　経営学科は、サービスを中心とした現代社会におけるイノベーションを「経済的付加価値の創造」として位置付け、マネジメント能力を基盤として、学生一人ひとりが自らの可能性に挑戦し、深い教養や専門知識及び総合的な判断力を身につけた社会人基礎力を有し、企業や自治体等の組織を変革する能力、及び経営を担える人材を養成することを目的とする。

（8）獣医学部は、獣医学、獣医看護学に関する知識及び技能を基盤として、実践的かつ応用的な教育を通して、高い生命倫理観と豊かな人間性、国際的視野を備え、ライフサイエンス分野の発展、及び動物とヒトの健康と福祉に貢献する人材の養成を目的とする。

ア　獣医学科は、ライフサイエンス分野、公共獣医事分野及び医獣連携獣医分野における教育研究を通して、動物とヒトの健康と福祉に貢献できる人材の養成を目的とする。

イ　獣医保健看護学科は、動物の健康維持に必要な基礎的な獣医学知識、獣医看護学の専門知識と技能を持ち、獣医師とともに動物とヒトの健康と福祉、QOL の向上に貢献する人材の養成を目的とする。

（9）アクティブラーナーズコースは、学生が自らの将来像を描き、既成の学問領域にとらわれず、自らの学びの設計・実践・省察を習慣化するとともに、他者と関わりながら、複数の学問領域の知見を融合させ、新しい価値を創造する能力を身につけることで、変化の激しい社会に柔軟に対応し、組織や社会に変革をもたらすことのできる人材を養成することを目的とする。

（方針の策定及び明示）

第２条の４　本大学は、学部、学科の教育研究上の目的並びに人材養成の目的を達成するため、入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針及び学位授与の方針を定め、これを明示する。

（修業年限）

第３条　本大学の修業年限は、４年とする。ただし、獣医学部獣医学科の修業年限は、６年とする。

２　大学の学生以外の者で、本大学において一定の単位を修得した者が本大学に入学した場合、修得した単位数その他の事項を勘案して相当期間（２年以内）を修業年限に通算することができる。

（在学期間）

第４条　前条の年限は、疾病その他の事由により延長することはできるが、在学期間は８年をこえることはできない。ただし、獣医学部獣医学科は１２年とする。

２　獣医学部獣医学科においては、原則として同一年次における在学年数を２年以内とする。

第２章　学年・学期及び休業日

（学年）

第５条　春入学者の学年は、４月１日に始まり、翌年３月 31 日に終る。

２　秋入学者の学年は、９月 11 日に始まり、翌年９月 10 日に終る。

（学期）

第６条　学年を分けて次の２期とする。

春学期　　４月１日から９月 10 日

秋学期　　９月 11 日から翌年３月 31 日

２　前項に定める各学期を前半及び後半に分けることができるものとする。

（休業日）

第７条　学年中の定期休業日は、次のとおりとする。ただし、教育上必要がある時は、休日又は休業日に授業を行うことができる。

（1）日曜日

（2）国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日

（3）創立者の日　　４月 30 日

（4）創立記念日　　５月４日

（5）春季休業

（6）夏季休業

（7）冬季休業

２　前項第５号から第７号までの休業日については、年度ごとに学長が定める期間とする。

３　臨時の休業日は、そのつど学長が定める。

第３章　授業科目及び単位数

（科目の区分）

第８条　本大学の授業科目は、基盤教育科目、専門教育科目、教職関連科目、学芸員関連科目に区分する。

第９条　教育課程は、教育課程編成・実施の方針に基づき、相互の関連性及び学修内容の順次性をふまえ、体系的に整備するものとする。
２　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。
３　授業科目及び単位数は、次のとおり別表に定める。

<table>
<tr><td rowspan="8">全学部
（生命科学部医療技術学科、生物地球学部恐竜学科、教育学部、獣医学部、アクティブラーナーズコースを除く）</td><td>別表Ⅰ</td><td colspan="2">基盤教育科目</td></tr>
<tr><td rowspan="6">別表Ⅱ</td><td rowspan="6">専門教育科目</td><td>(1)理学部</td></tr>
<tr><td>(2)工学部</td></tr>
<tr><td>(3)情報理工学部</td></tr>
<tr><td>(4)生命科学部生物科学科</td></tr>
<tr><td>(5)生物地球学部生物地球学科</td></tr>
<tr><td>(6)経営学部</td></tr>
<tr><td>別表Ⅲ</td><td colspan="2">教職関連科目（経営学部を除く）</td></tr>
<tr><td>別表Ⅳ</td><td colspan="2">学芸員関連科目</td></tr>
<tr><td>生命科学部医療技術学科</td><td>別表Ⅴ</td><td colspan="2">(1)基盤教育科目
(2)専門教育科目</td></tr>
<tr><td>生物地球学部恐竜学科</td><td>別表Ⅵ</td><td colspan="2">(1)基盤教育科目
(2)専門教育科目
(3)教職関連科目
(4)学芸員関連科目</td></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>別表Ⅶ</td><td colspan="2">(1)基盤教育科目
(2)専門教育科目</td></tr>
<tr><td>獣医学部</td><td>別表Ⅷ</td><td colspan="2">(1)基盤教育科目
(2)専門教育科目</td></tr>
<tr><td>アクティブラーナーズコース</td><td>別表Ⅸ</td><td colspan="2">(1)基盤教育科目
(2)専門教育科目</td></tr>
</table>

第10条　　削除

（授業科目の単位数の基準）
第11条　１単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
（１）　講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって１単位とする。
（２）　実験、実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって１単位とする。
（３）　１つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、第１号及び第２号に規定する基準を考慮して、本大学が定める時間の授業をもって１単位とする。

（授業の方法）
第11条の２　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
２　本大学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第２項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
３　本大学は、第１項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
４　本大学は、大学設置基準第25条第４項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより（文科省告示第43号）、第１項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
５　第２項に関する規程は、別に定める。

（成績評価基準等の明示等）
第11条の３　本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに１年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
２　学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（ファカルティ・ディベロップメント）
第11条の４　本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第４章　入学・休学・退学

（入学）
第12条　入学は学年の始めとする。

第13条　本大学の第１年次学生として入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。
（１）　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者

（2） 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
（3） 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5） 文部科学大臣の指定した者
（6） 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第一号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
（7） 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

第 14 条 本大学に入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて本大学に願い出なければならない。
2 入学願書の受付期間は別に定める。
3 前項の規定は、第 18 条、第 21 条、及び第 28 条の規定により入学を志望する場合にもこれを準用する。

第 15 条 入学志望者については、入学者受入れの方針に基づき、学力及び人物について選考する。
2 選考方法に関して必要な事項は別に定める。

第 16 条 入学試験合格者は当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

（入学手続）
第 17 条 入学試験合格者は、指定の期日までに入学金、授業料及びその他の諸納付金を納入するとともに、保証人連署の誓約書、卒業証明書等を提出し、かつ所定の宣誓をしなければならない。
2 入学試験合格者が故なくして、前項の手続きを怠るときは、合格の許可を取り消すことがある。
3 第１項の手続きを完了した者に対して学長は入学許可を与える。
4 編入学、転入学、及び再入学の場合も同様とする。

（編入学）
第 18 条 本大学の２年次以降に欠員のある場合には、別に定める資格を有する者を選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が編入学を許可することがある。
2 編入学（短期大学を卒業した者を含む。）に関する規程は別に定める。

（転学部・転学科）
第 19 条 学生が所属学部から他へ転部しようとする時は、教育上支障がない場合に限り、受入先の学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。
2 学生が所属学部内において他学科への転科をしようとする時は、教育上支障がない場合に限り、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。
3 転学部、転学科に関して必要な事項は別に定める。

（転入学）
第 20 条 学生が他の大学へ転学、又は他の大学への入学を志願しようとするときは、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第 21 条 他の大学から転入学を志願する者については、教育上支障がない場合に限り、選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。
2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

（転籍）
第 21 条の２ 学生が転籍をしようとするときは、教育上支障がない場合に限り、別に定める資格を有する者を選考の上、受入先の学部教授会の審議を経て、学長が転籍を許可することがある。
2 転籍に関して必要な事項は別に定める。

（休学）
第 22 条 学生は、疾病その他の事由により、引続き３月以上就学困難な場合は、医師の診断書または、詳細な事由書を添えて、保証人連署をもって学長に願い出て、許可を受け休学することができる。
2 疾病その他の事由により、修学することが適当でないと認められる学生に対しては、学長は、当該学部教授会の審議を経て、期間を定めて休学を命ずることがある。

第 23 条 休学の期間は、引続き１年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、さらに１年以上の休学を許可することがある。

第 24 条 休学期間は、通算して修業年限に相当する年数を超えることはできない。

第25条　休学期間は、在学期間に算入しない。

第26条　休学期間内であっても、事由が消滅し、就学しようとするときは、復学願を提出して学長の許可を受けて復学することができる。

（退学）
第27条　学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出て許可を受けなければならない。

（再入学）
第28条　次の各号の一に該当する者が所定の手続きを経て入学を願い出たときは、当該学部教授会の審議を経て、学長が入学を許可することがある。
（1）　本大学を卒業し、さらに同一学部内の他の学科又は、他の学部・学科に入学を願い出た者
（2）　本大学を前条により退学し、同一学科に再入学を願い出た者
（3）　第40条第２号により除籍された者で、再入学を願い出た者
２　前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

第５章　授業科目の履修単位修得の認定及び卒業

（授業科目の履修及び単位修得の認定）
第29条　学生は、在学中所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。
２　一つの授業科目を履修した者に対しては、認定の上所定の単位を与える。
３　単位修得の認定は、試験その他によって行なう。
４　授業科目の履修及び単位修得の認定に関しては、前３項のほか、別に定める規程に基づくものとする。

（学習の評価）
第30条　試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の評価をもってし、不可（D）は不合格とする。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第31条　本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。
３　前２項に関する規程は、別に定める。

（大学以外の教育施設等における学修）
第31条の２　本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修のうち本大学が適当と認めるものを、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
２　前項の規定により授与することのできる単位数は、前条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
３　前２項に関する規程は、別に定める。

（入学前の既修得単位等の認定）
第32条　本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学に入学した後の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
３　前２項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第31条第１項及び第２項並びに前条第１項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
４　前３項に関する規程は、別に定める。

（卒業）
第33条　本大学に４年以上在学し、ただし獣医学部獣医学科は６年以上在学し、次表の単位数を満たした者に対して当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

学　部	学　　科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科 基礎理学科 物理学科	124以上

	化学科 動物学科	
工 学 部	機械システム工学科 電気電子システム学科 情報工学科 応用化学科 建築学科	124 以上
情報理工 学　　部	情報理工学科	124 以上
生 命 科 学　　部	生物科学科 医療技術学科	124 以上
生物地球 学　　部	生物地球学科 恐竜学科	124 以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	124 以上
経営学部	経営学科	124 以上
獣医学部	獣医学科	182 以上
	獣医保健看護学科	124 以上
アクティブラーナーズコース		124 以上

（1）　基盤教育科目については、34 単位以上を修得するものとする。ただし、教職関連科目（免許教科の教育法に係る科目を除く。）及び学芸員関連科目の修得単位数のうち 14 単位を限度として、当該学部教授会の審議を経て、基盤教育科目の修得単位数に加えることができる。また、生命科学部医療技術学科においては、26 単位以上、獣医学部獣医保健看護学科においては、29 単位以上を修得するものとする。

（2）　専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。ただし、教職関連科目のうち免許教科の教育法に係る科目の修得単位数を、当該学部教授会の審議を経て、専門教育科目の修得単位数に加えることができる。

学　部	学　　科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科 基礎理学科 物理学科 化学科 動物学科	80 以上
工 学 部	機械システム工学科 電気電子システム学科 情報工学科 応用化学科 建築学科	82 以上 76 以上 78 以上 80 以上 78 以上
情報理工 学　　部	情報理工学科	80 以上
生 命 科 学　　部	生物科学科 医療技術学科	80 以上 76 以上
生物地球 学　　部	生物地球学科 恐竜学科	78 以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	80 以上
経営学部	経営学科	80 以上
獣医学部	獣医学科	143 以上
	獣医保健看護学科	82 以上
アクティブラーナーズコース		18 以上

（早期卒業）

第 33 条の２　前条の規定にかかわらず、本大学に３年以上在学し、卒業の要件として修得すべき単位を優秀な成績をもって修得した学生が、学校教育法第 89 条に規定する卒業（以下「早期卒業」という。）を希望する場合は、当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認めることができる。ただし、早期卒業の認定を行う学部にあっては、その卒業認定の基準を定め、公表しておかなければならない。

２　前項に関して必要な事項は、別に定める。

３　本大学に他の大学から転入学した者にかかわる早期卒業の必要在学年数については、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 149 条の定めるところによる。

（資格）
第 33 条の３　教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、次の免許状を取得する資格が与えられる。

学　部	学　　科	免許状の種類	教　科
理 学 部	応用数学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報
	基礎理学科	中学校教諭一種免許状	数学・理科
		高等学校教諭一種免許状	数学・理科・情報
	物理学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	動物学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
工 学 部	機械システム工学科	中学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	工業
	電気電子システム学科	中学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	工業・情報
	情報工学科	高等学校教諭一種免許状	工業・情報
	応用化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	建築学科	中学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	工業
情報理工学　部	情報理工学科	高等学校教諭一種免許状	情報
生 命 科学　部	生物科学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
生物地球学　部	生物地球学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	恐竜学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
教育学部	初等教育学科	小学校教諭一種免許状	
	中等教育学科	中学校教諭一種免許状	国語・英語
		高等学校教諭一種免許状	国語・英語

２　前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第 33 条の４　学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）及び博物館法施行規則（昭和 30 年文部省令第 24 号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、学芸員の資格を取得する資格が与えられる。
２　前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第 33 条の５　生命科学部生物科学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成課程を置く。
２　食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得しようとする者は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の指定基準に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格が与えられる。
３　前項に関して必要な事項は、別に定める。

（学位）
第 34 条　本大学の卒業を認定された者に対し、学位授与の方針に基づき、次の学位を授与する。

理学部	学士（理学）
工学部	学士（工学）
情報理工学部	学士（情報理工学）
生命科学部	学士（生命科学）
生物地球学部	学士（理学）
教育学部	学士（教育学）

経営学部　　学士（経営学）
獣医学部獣医学科　　学士（獣医学）
獣医保健看護学科　学士（獣医保健看護学）

2　学位の授与に関し必要な事項については、本大学学位規程の定めるところによる。
3　前項に関わらずアクティブラーナーズコースにおける学位の授与はアクティブラーナーズコース規程に定める。

第６章　表彰・懲戒及び除籍

（表彰）
第 35 条　学長は、学生が他の模範となる行為をしたときは、学部長及び第 66 条に定める機構の長からの推薦に基づき表彰することができる。
2　表彰に関する規程は別に定める。

（懲戒）
第 36 条　学生が本大学の諸規則に違反し、学内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の審議を経て、学長がこれを懲戒する。
2　懲戒に関する規程は別に定める。

第 37 条　懲戒の種類は次のとおりとする。
訓　　告
停　　学
退　　学

第 38 条　学生が次の各号の一に該当するときは、学長は懲戒により退学を命ずることができる。
（1）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（2）　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
（3）　正当の理由がなく出席常でない者
（4）　学内の秩序を乱し学生の本分に反した者

第 39 条　停学が引続き３月以上にわたるときは、その期間は修業年限に算入しない。

（除籍）
第 40 条　学長は、次の各号の一に該当するとき、当該学生を除籍することができる。
（1）　第４条の在学期間修業してなお卒業の認められない者
（2）　正当な理由がなく授業料その他の諸納付金納入の義務を怠り、再三の督促を受けてもなお納入しない者
（3）　死亡又は失踪した者

第７章　入学検定料・入学金及び授業料その他

第 41 条　本大学の入学検定料、入学金及び授業料等は別表Ⅹのとおりとする。

第 42 条　演習及び実習などに要する費用は別に徴収する。

第 43 条　前２条の諸納付金は、別に定める規程により納入しなければならない。
2　所定の期日までに納付金の納入を怠っている者は、それを納入するまで授業及び試験に出席すること、並びに附属図書館備えつけの図書を閲覧することを禁止することがある。

第 44 条　休学者の納付金の取り扱いは別に定める。

第 45 条　転学、退学及び停学者は、その期の諸納付金は納入しなければならない。

第 46 条　在学中諸納付金（授業料を除く。）に変更あるときは、新たに定められた金額をその期から納入しなければならない。

第 47 条　既納の納付金は一切返さない。

第８章　科目等履修生・単位互換履修生・研究生・委託生

（科目等履修生）
第 48 条　本大学生以外の者で本大学の特定の授業科目について履修を願いでた者があるときは、授業に支障をきたさない限り選考の上、学長は、科目等履修生として入学を許可することがある。
2　科目等履修生の検定料・入学金及び履修料は、別表Ⅻのとおりとする。
3　科目等履修生に関する規程は、別に定める。

（単位互換履修生）

第49条　他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該大学の学生で、本大学の授業科目を履修しようとする者があるときは、学長は、単位互換履修生として許可することがある。
２　前項に関する規程は、別に定める。

（研究生）
第50条　本大学に研究生を受け入れることができる。
２　研究生に関し必要な事項は、別に定める。

（委託生）
第51条　公共団体その他の機関から本大学特定の授業科目について修学を委託されたときは、授業に支障をきたさない限り、選考の上、学長は委託生として許可することがある。
２　委託生に関する規程は、別に定める。

第９章　外国人留学生

（外国人留学生）
第52条　日本国以外に居住する外国人又は大学入学を目的として本国に入国している外国人で、本大学の学部学生、科目等履修生、研究生又は委託生として入学を志願する者がある時は選考の上、学長は、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第53条　　削　除

第１０章　特待生及び奨学生

第54条　学生にして学力優秀品行方正かつ身体強健なる者を特待生とすることがある。

第55条　前条に関する規程は別に定める。

第１１章　教職員組織

第56条　本大学に学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の教職員を置く。

第１２章　運営組織

（運営組織）
第57条　学校教育法（昭和22年法律第26号）第93条第１項の規定に基づき、本大学に教授会に相当する組織を置く。
２　前項については、学長が別に定める。

（学部教授会）
第58条　本大学の各学部に学部教授会を置く。
２　各学部教授会は、学部専任の教授、准教授、講師及び助教並びに学部教授会があらかじめ定めた学部所属以外の専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
３　各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
（１）　学生の入学、卒業及び課程の修了
（２）　学位の授与
（３）　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、学部教授会等の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの
４　各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。
５　学部教授会に関する規程は別に定める。

第59条　アクティブラーナーズコースにアクティブラーナーズコース運営委員会を置く。
２　本学則において学部教授会の審議を経ることと定める事項、並びに第58条第３項及び第４項に定める学長に意見を述べる事項については、アクティブラーナーズコース運営委員会の審議を経ることとする。

（大学協議会）
第60条　本大学に大学協議会を置く。
２　大学協議会は、本大学の教学に関する全学的事項を審議し、学長に最終的な意見として意見を述べるものとする。
３　大学協議会に関する規程は別に定める。

第61条　削除

第１３章　通信教育部

（通信教育部）
第62条　本大学に通信教育部を置く。
２　前項に関する規程は別に定める。

第１４章　大　学　院

（大学院）
第63条　本大学に大学院を置く。
２　前項に関する学則は別に定める。

第１５章　教職特別課程

（教職特別課程）
第64条　本大学に教職特別課程を置く。
２　前項に関する規程は別に定める。
３　本課程の入学検定料・入学金及び授業料等は別表XIのとおりとする。

第１６章　留学生別科

（留学生別科）
第65条　本大学に留学生別科を置く。
２　留学生別科の定員は60名とする。
３　留学生別科に関する規程は別に定める。

第１７章　機　構

（機構）
第66条　本大学の方針に基づき、教育の充実、学生支援の充実及び研究の推進を組織的に展開し、質の向上を図るため、次の機構を置く。
（１）　教育推進機構
（２）　学生支援機構
（３）　研究・社会連携機構
２　前項各号に関する規程は別に定める。

第１８章　附　属　施　設

（附属施設）
第67条　本大学に次の附属施設を置く。
（１）　図書館
（２）　健康管理センター
（３）　情報基盤センター
（４）　フロンティア理工学研究所
（５）　自然フィールドワークセンター
（６）　ワイン発酵科学センター
（７）　工作センター
（８）　生物医科学検査研究センター
（９）　古生物学・年代学研究センター
(10)　建築歴史文化研究センター
(11)　アントレプレナーシップセンター
(12)　いきものQOLセンター
(13)　蒜山学舎
(14)　寄宿舎
(15)　獣医学教育病院
２　前項第１号から第３号までは、学生支援機構に所属し、第４号から第12号までは、研究・社会連携機構に所属する。
３　第１項各号に関する規程は、別に定める。

第１９章　雑　則

（改正）
第68条　岡山理科大学学則の改正は、学部教授会及び大学協議会の審議を経て、理事会で決定する。

附　則

この学則は昭和39年４月１日から施行する。

附　則

この改正学則は昭和39年４月１日から施行する。

附　則
この改正学則は昭和41年４月１日から施行する。

附　則
この改正学則は昭和44年４月１日から施行する。

附　則
この改正学則は昭和46年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第９条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和 48 年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生（応用物理学科 47 年度入学生は除く）は、第９条、第10条、第33条については従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和49年１月１日から施行する。

附　則
この改正学則は昭和49年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第９条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和50年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第９条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和51年３月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第９条、第10条、第41条、第70条については、従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和52年３月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和52年４月１日から施行する。

附　則
この改正学則は昭和53年３月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和53年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和54年３月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第70条については、従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和54年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附　則
この改正学則は昭和55年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第９条、第10条については従前の規定による。
なお、第２条の応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻の総定員については、昭和55年度60名、昭和56年度120名、昭和57年度180名と読み替えるものとする。

附　則
この改正学則は昭和55年８月１日から施行する。

附　則

この改正学則は昭和56年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第41条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の電子理学科の総定員については、昭和56年度420名、昭和57年度440名、昭和58年度460名、基礎理学科の総定員については、昭和56年度340名、昭和57年度360名、昭和58年度380名と読み替えるものとする。

附　則

この改正学則は昭和57年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の応用物理学科の総定員については、昭和57年度420名、昭和58年度440名、昭和59年度460名、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和57年度60名、昭和58年度120名、昭和59年度180名と読み替えるものとする。

附　則

この改正学則は昭和58年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附　則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附　則

この改正学則は昭和60年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第44条、第69条については従前の規定によるものとし第10条の基礎理学科の専門教育科目およびその単位数については、昭和58年度入学生より適用するものとする。

附　則

この改正学則は昭和61年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第9条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については、従前の規定による。

なお、第2条の工学部応用化学科応用化学専攻、開発化学専攻、機械工学科機械基礎工学専攻、産業機械工学専攻、電子工学科電子工学専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和61年度60名、昭和62年度120名、昭和63年度180名と読み替えるものとし、理学部応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻、機械理学科、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻については、昭和61年度より募集停止とする。

また、第2条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	60名
情報・システム専攻	60名
計	890名

附　則

この改正学則は昭和62年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附　則

この改正学則は昭和62年7月1日から施行する。

附　則

この改正学則は昭和63年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第９条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第２条の理学部生物化学科の総定員については、昭和63年度100名、平成元年度200名、平成２年度300名と読み替えるものとする。

附　則

この改正学則は平成　元年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第33条については、従前の規定による。

附　則

この改正学則は平成２年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第10条、第33条、第66条については、従前の規定による。

附　則

この改正学則は平成３年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条については、従前の規定によるものとし、第10条第２項の電子工学科の専門教育科目特別講義およびその単位数については、昭和63年度入学生より適用するものとする。

なお、第２条の規定にかかわらず、平成３年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	100名
情報・システム専攻	100名
計	1,070名

附　則

この改正学則は平成３年９月１日から施行する。

附　則

この改正学則は平成４年２月１日から施行する。

附　則

この改正学則は平成４年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条、第33条については、従前の規定による。

なお、第２条の工学部電子工学科の総定員については、平成４年度440名、平成５年度400名、
平成６年度360名、工学部情報工学科の総定員については、平成４年度80名、平成５年度160名、平成６年度240名と読み替えるものとする。

また、第２条の規定にかかわらず、平成４年度から平成１１年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	120名
情報専攻	120名
化学科	120名
応用物理学科	130名

基礎理学科	140 名
生物化学科	100 名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	80 名
開発化学専攻	80 名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60 名
産業機械工学専攻	60 名
電子工学科	120 名
情報工学科	120 名
計	1,250 名

附　則

この改正学則は平成４年 12 月 21 日から施行する。

附　則

この改正学則は平成５年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は第２条、第８条、第９条、第 10 条、第 11 条、第 33 条については、従前の規定による。

附　則

この改正学則は平成５年４月 26 日から施行する。

附　則

この改正学則は平成６年４月１日から施行する。

附　則

この改正学則は平成６年５月 23 日から施行する。

附　則

この改正学則は平成６年７月 18 日から施行する。

附　則

この改正学則は、平成７年４月１日から施行する。ただし、第２条の規定にかかわらず、平成７年度から平成９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成７年度	平成８年度	平成９年度
理学部			
応用数学科			
数学専攻	270 名	260 名	250 名
情報専攻	270 名	260 名	250 名
化学科	390 名	380 名	370 名
応用物理学科	460 名	440 名	420 名
基礎理学科	380 名	360 名	340 名
生物化学科	400 名	400 名	400 名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	220 名	200 名	180 名
精密化学専攻	220 名	200 名	180 名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240 名	240 名	240 名
機械システム工学専攻	240 名	240 名	240 名
電子工学科	320 名	320 名	320 名
情報工学科	320 名	320 名	320 名
計	3,730 名	3,620 名	3,510 名

なお、第２条の規定にかかわらず、平成７年度から平成１１年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	110 名
情報専攻	110 名

化学科	110名
応用物理学科	110名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
計	1,140名

附　則

この改正学則は、平成８年４月１日から施行する。

附　則

この改正学則は、平成９年４月１日から施行する。ただし、第２条の規定にかかわらず、平成９年度から平成11年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成９年度	平成10年度	平成11年度
理学部			
応用数学科	440名	360名	300名
化学科	365名	350名	345名
応用物理学科	390名	340名	310名
基礎理学科	325名	290名	275名
生物化学科	400名	400名	400名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	180名	160名	160名
精密化学専攻	180名	160名	160名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名
総合情報学部			
数理情報学科	50名	100名	150名
シミュレーション物理学科	40名	80名	120名
生物地球システム学科	70名	140名	210名
社会情報学科	70名	140名	210名
計	3,630名	3,640名	3,760名

また、第２条の規定にかかわらず、平成９年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	110名
化学科	105名
応用物理学科	80名
基礎理学科	105名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
精密化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
機械システム工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名

総合情報学部	
数理情報学科	100名
シミュレーション物理学科	40名
生物地球システム学科	70名
社会情報学科	70名
計	1,260名

なお、この改正前に入学した学生は、第８条、第９条、第11条、第33条については、従前の規定による。

さらに、第９条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのＢ２群の授業科目「企業情報特論」およびその単位数については、平成５年度入学生より適用するものとし、第９条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのD群の授業科目およびその単位数については、平成９年度在学生より適用するものとする。

附　則

この改正学則は、平成10年４月１日から施行する。

附　則

この改正学則は、平成11年４月１日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第８条、第９条、第11条、第33条については従前の規定による。

また、第２条に定める理学部生物化学科臨床生物化学専攻編入学定員２名については、平成１４年度より適用するものとする。

さらに、第９条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱの授業科目「企業等体験実習」およびその単位数については平成５年度入学生より適用するものとする。

附　則

この改正学則は、平成12年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第３条、第９条、第11条、第13条、第31条、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第２条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部					
応用数学科	240名	240名	240名	240名	240名
化学科	340名	340名	340名	340名	340名
応用物理学科	280名	280名	280名	280名	280名
基礎理学科	260名	260名	260名	260名	260名
生物化学科					
生物化学専攻	400名	400名	400名	400名	400名
臨床生物化学専攻	80名	120名	162名	162名	162名
工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	160名	160名	160名	160名	160名
精密化学専攻	160名	160名	160名	160名	160名
機械工学科					
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名	320名	320名
総合情報学部					
数理情報学科	200名	200名	200名	200名	200名
シミュレーション物理学科	160名	160名	160名	160名	160名
生物地球システム学科	280名	280名	280名	280名	280名
社会情報学科	280名	280名	280名	280名	280名
計	3,960名	4,000名	4,042名	4,042名	4,042名

また、第２条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部					
応用数学科	105名	100名	95名	90名	85名
化学科	103名	101名	99名	97名	95名
応用物理学科	79名	78名	77名	76名	75名
基礎理学科	101名	97名	93名	89名	85名
生物化学科					
生物化学専攻	100名	100名	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	40名	40名	42名	42名	42名

工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	58名	56名	54名	52名	50名
精密化学専攻	58名	56名	54名	52名	50名
機械工学科					
機械基礎工学専攻	60名	60名	60名	60名	60名
機械システム工学専攻	60名	60名	60名	60名	60名
電子工学科	116名	112名	108名	104名	100名
情報工学科	116名	112名	108名	104名	100名
総合情報学部					
数理情報学科	95名	90名	85名	80名	75名
シミュレーション物理学科	40名	40名	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名	70名	70名
社会情報学科	70名	70名	70名	70名	70名
計	1,271名	1,242名	1,215名	1,186名	1,157名

附　則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第31条、第31条の2、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部				
応用数学科	240名	240名	240名	240名
化学科	340名	340名	340名	340名
応用物理学科	280名	280名	280名	280名
基礎理学科	260名	260名	260名	260名
生物化学科				
生物化学専攻	400名	400名	400名	400名
臨床生物化学専攻	120名	162名	162名	162名
工学部				
応用化学科				
応用化学専攻	160名	160名	160名	160名
生物・環境化学専攻	160名	160名	160名	160名
機械システム工学科	445名	410名	375名	340名
電子工学科	320名	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名	320名
福祉システム工学科	70名	140名	210名	280名
総合情報学部				
情報科学科	225名	250名	275名	300名
シミュレーション物理学科	160名	160名	160名	160名
生物地球システム学科	280名	280名	280名	280名
社会情報学科	280名	280名	280名	280名
計	4,060名	4,162名	4,222名	4,282名

また、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部				
応用数学科	100名	95名	90名	85名
化学科	101名	99名	97名	95名
応用物理学科	78名	77名	76名	75名
基礎理学科	97名	93名	89名	85名
生物化学科				
生物化学専攻	100名	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	40名	42名	42名	42名
工学部				
応用化学科				
応用化学専攻	51名	49名	47名	45名
生物・環境化学専攻	56名	54名	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名	85名	85名
電子工学科	112名	108名	104名	100名
情報工学科	112名	108名	104名	100名

福祉システム工学科	70名	70名	70名	70名
総合情報学部				
情報科学科	115名	110名	105名	100名
シミュレーション物理学科	40名	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名	70名
社会情報学科	70名	70名	70名	70名
計	1,297名	1,270名	1,241名	1,212名

附　則

この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の理学部応用物理学科物理科学専攻の収容定員については、平成14年度40名、平成15年度80名、平成16年度120名、応用物理学科医用科学専攻の収容定員については、平成14年度30名、平成15年度60名、平成16年度90名と読み替えるものとする。

さらに、第2条の総合情報学部コンピュータシミュレーション学科の収容定員については、平成14年度40名、平成15年度80名、平成16年度120名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部			
応用数学科	95名	90名	85名
化学科	99名	97名	95名
応用物理学科			
物理科学専攻	47名	46名	45名
医用科学専攻	30名	30名	30名
基礎理学科	93名	89名	85名
生物化学科			
生物化学専攻	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	42名	42名	42名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	49名	47名	45名
生物・環境化学専攻	54名	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名	85名
電子工学科	108名	104名	100名
情報工学科	108名	104名	100名
福祉システム工学科	70名	70名	70名
総合情報学部			
情報科学科	110名	105名	100名
コンピュータシミュレーション学科	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名
社会情報学科	70名	70名	70名
計	1,270名	1,241名	1,212名

附　則

この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の総合情報学部社会情報学科地域人間情報専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名、社会情報学科情報社会システム専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成15年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成15年度	平成16年度
理学部		
応用数学科	90名	85名
化学科	97名	95名
応用物理学科		
物理科学専攻	46名	45名
医用科学専攻	30名	30名
基礎理学科	89名	85名
生物化学科		
生物化学専攻	100名	100名
臨床生物化学専攻	42名	42名
工学部		

応用化学科		
応用化学専攻	47名	45名
生物・環境化学専攻	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名
電子工学科	104名	100名
情報工学科	104名	100名
福祉システム工学科	70名	70名
総合情報学部		
情報科学科	105名	100名
コンピュータシミュレーション学科	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名
社会情報学科		
地域人間情報専攻	35名	35名
情報社会システム専攻	35名	35名
計	1,241名	1,212名

附　則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	名	名	名
理学部			
応用数学科	265	290	315
化学科	340	340	340
応用物理学科	70		
物理科学専攻	125	175	175
医用科学専攻	90	120	120
基礎理学科	270	280	290
生物化学科	90	180	270
生物化学専攻	300	200	100
臨床生物化学専攻	120	80	40
臨床生命科学科	80	160	240
小　計	1750	1820	1890
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	165	170	175
生物・環境化学専攻	165	170	175
機械システム工学科	345	350	355
電子工学科	330	340	350
情報工学科	350	380	410
福祉システム工学科	280	280	280
小　計	1635	1690	1745
総合情報学部			
情報科学科	315	330	345
コンピュータシミュレーション学科	160	160	160
生物地球システム学科	290	300	310
社会情報学科	140	70	
地域人間情報専攻	70	105	140
情報社会システム専攻	70	105	140
小　計	1045	1070	1095
計	4430	4580	4730

附　則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。ただし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「インターンシップ」およびその単位数については平成12年度入学生より適用するものとする。第2条の化学科の収容定員については、平成17年度335名、平成18年度330名、平成19年度325名と読み替えるものとする。

また、第2条の基礎理学科の収容定員については、平成17年度285名、平成18年度300名、平成19年度315名と読み替えるものとする。

さらに、第２条の知能機械工学科の収容定員については、平成 17 年度 70 名、平成 18 年度 140 名、平成 19 年度 210 名と読み替えるものとする。

附　則

この改正学則は、平成 18 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。

なお、第９条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「関係法規」、「基礎医学実習」、「薬理学」、「医用治療機器学」、「医用治療機器学実習」、「医用機器安全管理学実習」、「医用生体計測装置学実習」、「生体機能代行装置学実習Ⅰ」、「生体機能代行装置学Ⅱ」、「生体機能代行装置学実習Ⅱ」、「生体機能代行装置学Ⅲ」、「生体機能代行装置学実習Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅰ」、「臨床医学総論Ⅱ」、「臨床医学総論Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅳ」、「臨床実習Ⅰ」、「臨床実習Ⅱ」、「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」およびその単位数については平成１７年度入学生より適用するものとし、第９条に定める別表Ⅱの授業科目「技術マネジメント」およびその単位数については平成 15 年度入学生より適用するものとする。

また、次の３学科については、平成 18 年度の入学定員変更に伴い収容定員を読み替える。

（1） 化学科の入学定員を 80 名から 75 名に変更することに伴い、第２条の収容定員を平成 18 年度 325 名、平成 19 年度 315 名、平成 20 年度 305 名と読み替えるものとする。

（2） 応用物理学科物理科学専攻の入学定員を 45 名から 35 名に変更することに伴い、第２条の収容定員を平成 18 年度 170 名、平成 19 年度 160 名、平成 20 年度 150 名とする。また、応用物理学科医用科学専攻の入学定員を 30 名から 40 名に変更することに伴い、第２条の収容定員を平成 18 年度 130 名、平成 19 年度 140 名、平成 20 年度 150 名と読み替えるものとする。

（3） 臨床生命科学科の入学定員を 80 名から 85 名に変更することに伴い、第２条の収容定員を平成 18 年度 245 名、平成 19 年度 330 名、平成 20 年度 335 名と読み替えるものとする。

附　則

この改正学則は、平成 19 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。

なお、第９条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「臨床医学特論Ⅰ」、「臨床医学特論Ⅱ」、「臨床医学特論Ⅲ」、「臨床医学特論Ⅳ」およびその単位数については平成 17 年度入学生より適用するものとする。

また、第２条の規定にかかわらず、平成 19 年度から平成 21 年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成 19 年度より工学部生体医工学科、総合情報学部建築学科を設置し、総合情報学部コンピュータシミュレーション学科を募集停止とする。

学部・学科等	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	315	305	300
応用物理学科			
物理科学専攻	160	150	140
医用科学専攻	140	150	160
基礎理学科	315	320	320
生物化学科	360	360	360
臨床生命科学科	330	335	340
小　計	1,960	1,960	1,960
工学部			
バイオ・応用化学科	350	340	330
機械システム工学科	355	350	345
電気電子システム学科	340	320	300
情報工学科	415	390	365
福祉システム工学科	70		
知能機械工学科	210	280	280
生体医工学科	60	120	180
小　計	1,800	1,800	1,800
総合情報学部			
情報科学科	350	340	330
コンピュータシミュレーション学科	120	80	40
生物地球システム学科	320	320	320
社会情報学科	280	280	280
建築学科	80	160	250
小　計	1,150	1,180	1,220
計	4,910	4,940	4,980

附　則

この改正学則は、平成 20 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従

前の規定による。
なお、第９条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「特別研究」の必修・選択の別については、平成 17 年度入学生より適用するものとし、第９条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「キャリア形成講座」およびその単位数については平成 13 年度入学生より適用するものとする。
また、第２条の規定にかかわらず、平成 20 年度から平成 22 年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	305	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	145	130	125
医用科学専攻	150	160	160
基礎理学科	315	310	305
生物化学科	355	350	345
臨床生命科学科	335	340	340
動物学科	40	80	120
小　　計	1,985	2,010	2,035
工学部			
バイオ・応用化学科	335	320	305
機械システム工学科	350	345	340
電気電子システム学科	320	300	280
情報工学科	390	365	340
知能機械工学科	270	260	250
生体医工学科	120	180	240
小　　計	1,785	1,770	1,755
総合情報学部			
情報科学科	340	330	320
コンピュータシミュレーション学科	80	40	
生物地球システム学科	310	300	290
社会情報学科	280	280	280
建築学科	160	250	340
小　　計	1,170	1,200	1,230
計	4,940	4,980	5,020

附　　則
この改正学則は、平成 21 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条、第 44 条については、従前の規定による。
なお、第 33 条第１項第２号から第４号については平成 20 年度入学生より適用するものとする。

附　　則
この改正学則は、平成 22 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。

附　　則
この改正学則は、平成 23 年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。
また、第２条の規定にかかわらず、平成 23 年度から平成 25 年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。
なお、平成 23 年度より工学部建築学科を設置し、総合情報学部建築学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
理学部	名	名	名
応用数学科	350	360	370
化学科	295	290	285
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340

動物学科	160	160	160
小　　計	2,065	2,070	2,075
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	235	230	225
生体医工学科	240	240	240
建築学科	70	140	215
小　　計	1,805	1,870	1,940
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	280	280	280
社会情報学科	290	300	310
建築学科	260	180	90
小　　計	1,150	1,080	1,000
計	5,020	5,020	5,015

平成17年４月から学生募集を停止した工学部福祉システム工学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成23年３月31日をもって廃止する。

附　　則

この改正学則は、平成23年10月１日から施行する。ただし、第９条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「ボランティア活動Ⅰ」、「ボランティア活動Ⅱ」およびその単位数については平成14年度入学生より適用するものとする。

附　　則

この改正学則は、平成24年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第８条、第９条、第30条、第33条については、従前の規定による。

また、第２条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成24年度より生物地球学部生物地球学科を設置し、総合情報学部生物地球システム学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成24年度	平成25年度	平成26年度
理学部	名	名	名
応用数学科	360	370	380
化学科	290	285	280
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小　　計	2,070	2,075	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	230	225	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	140	215	290
小　　計	1,870	1,940	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	210	140	70
社会情報学科	300	310	320
建築学科	180	90	0
小　　計	1,010	860	710
生物地球学部			
生物地球学科	100	200	300

小　　計	100	200	300
計	5,050	5,075	5,100

附　　則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第30条、第33条については、従前の規定による。

ただし、第9条に定める別表Ⅳ生物地球学部生物地球学科の授業科目「日本史概論」およびその単位数は平成24年度入学生より適用するものとする。

附　　則

平成19年4月から学生募集を停止した総合情報学部コンピュータシミュレーション学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成25年4月30日をもって廃止する。

この改正学則は、平成25年5月1日から施行する。

附　　則

この改正学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成26年度から平成28年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小　　計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小　　計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	70	0	0
社会情報学科	320	320	320
建築学科	0	0	0
小　　計	710	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	320	440	460
小　　計	320	440	460
計	5,120	5,170	5,190

附　　則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成27年度	平成28年度	平成29年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			

物理科学専攻	130	140	150
医用科学専攻	150	140	130
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小　計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小　計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小　計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	440	460	480
小　計	440	460	480
計	5,170	5,190	5,210

附　則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成28年度から平成30年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	140	150	160
臨床工学専攻	140	130	120
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小　計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小　計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小　計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	460	480	480
小　計	460	480	480
教育学部			
初等教育学科	70	140	210

中等教育学科	60	120	180
小　　計	130	260	390
計	5,320	5,470	5,600

平成23年４月から学生募集を停止した総合情報学部建築学科については、当該学科の在学生がいなくなったため、平成28年３月31日をもって廃止する。

附　　則

この改正学則は、平成29年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第33条については、従前の規定による。

また、第２条の規定にかかわらず、平成29年度から平成31年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成29年度より経営学部経営学科を設置し、総合情報学部社会情報学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成29年度	平成30年度	平成31年度
理学部	名	名	名
応用数学科	395	410	425
化学科	285	290	295
応用物理学科			
物理科学専攻	155	170	175
臨床工学専攻	130	120	120
基礎理学科	315	330	345
生物化学科	350	360	370
臨床生命科学科	350	360	370
動物学科	165	170	175
小　　計	2,145	2,210	2,275
工学部			
バイオ・応用化学科	310	320	330
機械システム工学科	345	350	355
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	350	360	370
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	295	300	305
小　　計	2,040	2,070	2,100
総合情報学部			
情報科学科	340	360	380
社会情報学科	240	160	80
小　　計	580	520	460
生物地球学部			
生物地球学科	500	520	540
小　　計	500	520	540
教育学部			
初等教育学科	140	210	280
中等教育学科	120	180	240
小　　計	260	390	520
経営学部			
経営学科	130	260	390
小　　計	130	260	390
計	5,655	5,970	6,285

附　　則

この改正学則は、平成29年５月１日から施行する。

平成24年４月から学生募集を停止した総合情報学部生物地球システム学科については、当該学科の在学生がいなくなったため、平成29年４月30日をもって廃止する。

附　　則

この改正学則は、平成30年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第９条、第33条については、従前の規定による。

また、第２条の規定にかかわらず、平成30年度から平成32年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成30年度	平成31年度	平成32年度
理学部	名	名	名
応用数学科	410	425	440
化学科	290	295	300
応用物理学科			
物理科学専攻	170	175	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	330	345	360
生物化学科	360	370	380
臨床生命科学科	360	370	380
動物学科	170	175	180
小　計	2,210	2,275	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	320	330	340
機械システム工学科	350	355	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	360	370	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	300	305	310
小　計	2,070	2,100	2,130
総合情報学部			
情報科学科	360	380	400
社会情報学科	160	80	0
小　計	520	460	400
生物地球学部			
生物地球学科	520	540	560
小　計	520	540	560
教育学部			
初等教育学科	210	280	280
中等教育学科	180	240	240
小　計	390	520	520
経営学部			
経営学科	260	390	520
小　計	260	390	520
獣医学部			
獣医学科	140	280	420
獣医保健看護学科	60	120	180
小　計	200	400	600
計	6,170	6,685	7,070

理学専攻科については、平成30年3月31日をもって廃止する。

附　則

この改正学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

2　第2条の規定にかかわらず、平成31年度から平成33年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成31年度	平成32年度	平成33年度
理学部	名	名	名
応用数学科	425	440	440
化学科	295	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	175	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	345	360	360
生物化学科	370	380	380
臨床生命科学科	370	380	380
動物学科	175	180	180
小　計	2,275	2,340	2,340

工学部			
バイオ・応用化学科	330	340	340
機械システム工学科	355	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	370	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	305	310	310
小　　計	2,100	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	380	400	400
社会情報学科	80	0	0
小　　計	460	400	400
生物地球学部			
生物地球学科	540	560	560
小　　計	540	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小　　計	520	520	520
経営学部			
経営学科	390	520	520
小　　計	390	520	520
獣医学部			
獣医学科	280	420	560
獣医保健看護学科	120	180	240
小　　計	400	600	800
計	6,685	7,070	7,270

附　　則（令和元年５月 29 日　第１回理事会）
（令和元年 10 月 29 日　第８回理事会）
（令和２年３月 30 日　第 14 回理事会）

この改正学則は、令和２年４月１日から施行する。

２　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。

３　第２条の規定にかかわらず、令和２年度から令和４年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和２年度	令和３年度	令和４年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
化学科	300	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	180	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	360	360	360
生物化学科	380	380	380
臨床生命科学科	380	380	380
動物学科	180	180	180
小　　計	2,340	2,340	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	340	340	340
機械システム工学科	360	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	380	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	310	310	310
小　　計	2,130	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	400	400	400
小　　計	400	400	400

生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小　計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小　計	520	520	520
経営学部			
経営学科	520	520	520
小　計	520	520	520
獣医学部			
獣医学科	420	560	700
獣医保健看護学科	180	240	240
小　計	600	800	940
計	7,070	7,270	7,410

4　第９条定める別表Ⅰ理学部臨床生命科学科の授業科目「医療安全管理学」の単位数については、平成 30 年度入学生は２単位とする。

附　則（令和３年３月 24 日　第 14 回理事会）

この改正学則は、令和３年４月１日から施行する。

2　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については従前の規定による。

3　第２条の規定にかかわらず、令和３年度から令和５年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和３年度	令和４年度	令和５年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
化学科	300	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	180	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	360	360	360
生物化学科	380	380	380
臨床生命科学科	380	380	380
動物学科	180	180	180
小　計	2,340	2,340	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	340	340	340
機械システム工学科	360	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	380	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	310	310	310
小　計	2,130	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	400	400	400
小　計	400	400	400
生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小　計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小　計	520	520	520
経営学部			
経営学科	520	520	520
小　計	520	520	520
獣医学部			
獣医学科	560	700	840
獣医保健看護学科	240	240	240

小　計	800	940	1,080
計	7,270	7,410	7,550

附　則（令和３年９月 21 日　第６回理事会）

この改正学則は、令和３年 10 月１日から施行する。

附　則（令和３年３月 24 日　第 13 回理事会）

附　則（令和４年２月 22 日　第 12 回理事会）

この改正学則は、令和４年４月１日から施行する。

２　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については従前の規定による。

３　第２条の規定にかかわらず、令和４年度から令和６年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和４年度	令和５年度	令和６年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
基礎理学科	360	360	360
物理学科	45	90	135
応用物理学科			
物理科学専攻	135	90	45
臨床工学専攻	90	60	30
化学科	300	300	300
生物化学科	285	190	95
動物学科	180	180	180
臨床生命科学科	335	290	245
小　計	2,170	2,000	1,830
工学部			
機械ｼｽﾃﾑ工学科	360	360	360
電気電子ｼｽﾃﾑ学科	280	280	280
情報工学科	360	340	320
応用化学科	60	120	180
ﾊﾞｲｵ・応用化学科	255	170	85
知能機械工学科	165	110	55
建築学科	310	310	310
生命医療工学科	205	170	135
小　計	1,995	1,860	1,725
情報理工学部			
情報理工学科	210	420	630
小　計	210	420	630
総合情報学部			
情報科学科	300	200	100
小　計	300	200	100
生命科学部			
生物科学科	165	330	495
小　計	165	330	495
生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小　計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小　計	520	520	520
経営学部			
経営学科	550	580	610
小　計	550	580	610
獣医学部			
獣医学科	700	840	840

獣医保健看護学科	240	240	240
小　　計	940	1,080	1,080
計	7,410	7,550	7,550

4　令和４年度より情報理工学部情報理工学科を設置し、工学部知能機械工学科、総合情報学部情報科学科は募集停止とする。
5　令和４年度より生命科学部生物科学科を設置し、理学部応用物理学科臨床工学専攻、理学部生物化学科は募集停止とする。
6　令和４年度よりアクティブラーナーズコースを設置し、工学プロジェクトコースはコース募集を停止する。
7　令和４年度より応用物理学科物理科学専攻は物理学科へ、バイオ・応用化学科は応用化学科へ名称変更し、令和４年度入学生より適用する。

附　則（令和５年２月 21 日　第 11 回理事会）

この改正学則は、令和５年４月１日から施行する。
2　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については従前の規定による。

附　則（令和６年２月 27 日　第 11 回理事会）

この改正学則は、令和７年４月１日から施行する。
2　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については従前の規定による。
3　第２条の規定にかかわらず、令和７年度、令和８年度、令和９年度の生命科学部医療技術学科の収容定員は 70 名、140 名、210 名とする。
4　第２条の規定にかかわらず、令和７年度、令和８年度、令和９年度の生物地球学部生物地球学科の収容定員は 540 名、520 名、500 名とし、恐竜学科の収容定員は 45 名、90 名、135 名とする。
5　第２条の規定にかかわらず、令和７年度、令和８年度、令和９年度の教育学部初等教育学科の収容定員は 270 名、260 名、250 名とし、中等教育学科の収容定員は 230 名、220 名、210 名とする。
6　令和７年度より理学部臨床生命科学科、工学部生命医療工学科は募集停止する。

附　則（令和６年２月 27 日　第 12 回理事会）

この改正学則は、令和６年４月１日から施行する。
2　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については、従前の規定による。

附　則（令和７年２月 25 日　第 14 回理事会）

この改正学則は、令和７年４月１日から施行する。
2　この改正前に入学した学生は、第９条（ただし、別表Ⅰ、別表Ⅶ第１項及び別表Ⅷ第１項を除く）、第 33 条については従前の規定による。

附　則（令和７年４月 22 日　第１回理事会）
附　則（令和８年２月 24 日　第 10 回理事会）

この改正学則は、令和８年４月１日から施行する。
2　第２条の規定にかかわらず、令和８年度、令和９年度、令和 10 年度の理学部化学科の収容定員は 295 名、290 名、285 名とする。
3　第２条の規定にかかわらず、令和８年度、令和９年度、令和 10 年度の工学部応用化学科の収容定員は 235 名、230 名、225 名とする。
4　第２条の規定にかかわらず、令和８年度、令和９年度、令和 10 年度の獣医学部獣医保健看護学科の収容定員は 250 名、260 名、270 名とする。
5　この改正前に入学した学生は、第９条、第 33 条については従前の規定による。

附　則（令和８年３月 17 日　第 11 回理事会）

この改正学則は、令和９年４月１日から施行する。
2　第２条の規定にかかわらず、令和９年度、令和 10 年度、令和 11 年度の理学部動物学科の収容定員は 185 名、190 名、195 名とする。
3　第２条の規定にかかわらず、令和９年度、令和 10 年度、令和 11 年度の工学部情報工学科の収容定員は 305 名、310 名、315 名とする。建築学科の収容定員は 315 名、320 名、325 名とする。

4　第２条の規定にかかわらず、令和９年度、令和10年度、令和11年度の教育学部初等教育学科の収容定員は225名、210名、195名とする。

附　則（令和８年６月12日　第３回理事会）

この改正学則は、令和８年７月１日から施行する。

2　平成29年度から学生募集を停止した総合情報学部社会情報学科については、当該学科の在学生がいなくなったため、令和８年６月30日をもって廃止する。

別表Ⅰ　基盤教育科目の授業科目、単位数及び必修・選択の別

基盤教育科目は全学共通とする。ただし、生命科学部医療技術学科は別表Ⅴ、生物地球学部恐竜学科は別表Ⅵ、教育学部は別表Ⅶ、獣医学部は別表Ⅷ、アクティブラーナーズコースは別表Ⅸによるものとする。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
初修外国語１	2	キャリアデザイン２	1
		キャリアデザイン３	1
		キャリアデザイン４	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2
		学びの基礎論	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップＡ	1
		インターンシップＢ	2
		インターンシップＣ	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ＩＡ	1
		グローバル研修ＩＢ	1
		グローバル研修ＩＣ	1
		グローバル研修ⅡＡ	2
		グローバル研修ⅡＢ	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		フィットネス	1
		ウインタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくＡ	2
		人間を読みとくＢ	2
		文化を読みとくＡ	2
		文化を読みとくＢ	2
		社会を読みとくＡ	2
		社会を読みとくＢ	2
		日本国憲法	2
		経営とＤＸ	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学（微分積分１）	2
		基盤数学（微分積分２）	2
		基盤数学（線形代数）	2
		基盤物理学１	2
		基盤物理学２	2
		基盤化学１	2
		基盤化学２	2
		基盤生物学１	2
		基盤生物学２	2
		基盤地学１	2
		基盤地学２	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		基盤地学実験	2
		ＤＸと技術	2
		基礎英語	2
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語２	2
		基盤日本語１	2
		基盤日本語２	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		ＩＢ教育課程・方法論	2
		ＩＢ教育評価論	2
		ＤＰ数学	2
		ＤＰ理科	2
		ＤＰ教育実践研究１	2
		ＤＰ教育実践研究２	2
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習１	1
		ワインプロジェクト実習２	1
		ワインプロジェクト実習３	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導１	2
		科学ボランティア実践指導２	1
		科学ボランティア活動１	1
		科学ボランティア活動２	1
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ研修	2
		リーダーシップ実践	2
		マナー・和文化講座	2

別表Ⅱ　専門教育科目の授業科目、単位数及び必修・選択の別

１．理学部

応用数学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分積分学と演習Ⅰ	2	表現とメディアの数理	2
微分積分学と演習Ⅱ	2	情報社会と倫理	2
微分積分学と演習Ⅲ	2	演算の数理	2
微分積分学と演習Ⅳ	2	形の数理	2
線型代数学と演習Ⅰ	2	偶然の数理	2
線型代数学と演習Ⅱ	2	確率論	2
線型代数学と演習Ⅲ	2	現象の数理	2
線型代数学と演習Ⅳ	2	集合と位相Ⅰ	2
情報リテラシー	2	集合と位相Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅴ	2	解析学と演習Ⅰ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分積分学と演習Ⅵ	2	解析学と演習Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅶ	2	解析学と演習Ⅲ	2
微分積分学と演習Ⅷ	2	解析学と演習Ⅳ	2
線型代数学と演習Ⅴ	2	代数学と演習Ⅰ	2
線型代数学と演習Ⅵ	2	代数学と演習Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅶ	2	代数学と演習Ⅲ	2
線型代数学と演習Ⅷ	2	代数学と演習Ⅳ	2
計算機とアルゴリズムⅠ	2	幾何学と演習Ⅰ	2
計算機とアルゴリズムⅡ	2	幾何学と演習Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	幾何学と演習Ⅲ	2
卒業研究Ⅱ	4	幾何学と演習Ⅳ	2
		教職への数学Ⅰ	2
		教職への数学Ⅱ	2
		情報数学Ⅰ	2
		情報数学Ⅱ	2
		データの数理	2
		シミュレーションの数理	2
		システムの数理Ⅰ	2
		システムの数理Ⅱ	2
		専門英語	2
		特別講義Ⅰ	1
		特別講義Ⅱ	1
		教職基礎演習	1
		数学教材開発指導	2
		教職基礎数学	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		数学基礎と演習Ⅰ	1
		数学基礎と演習Ⅱ	1

基礎理学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
卒業研究Ⅰ	4	情報リテラシー	2
卒業研究Ⅱ	4	情報リテラシーⅡ	2
		電子計算機概論	2
		情報システム概論Ⅰ	2
		情報システム概論Ⅱ	2
		情報社会と情報倫理	2
		ネットワークとインターネット	2
		微分積分学Ⅰ	2
		微分積分学Ⅱ	2
		微分積分学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅰ	2
		線形代数学Ⅱ	2
		線形代数学Ⅲ	2
		数学要論Ⅰ	2
		数学要論Ⅱ	2
		計算機数学	2
		プログラム探究	2
		基礎物理学Ⅰ	2
		基礎物理学Ⅱ	2
		物理学実験	2
		基礎化学Ⅰ	2
		基礎化学Ⅱ	2
		生命科学Ⅰ	2
		生命科学Ⅱ	2
		地球科学Ⅰ	2
		地球科学Ⅱ	2
		電気磁気学Ⅰ	2
		分析化学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		有機化学Ⅰ	2
		地質学	2
		化学実験	2
		生物学実験	2
		地学実験	2
		野外実践指導実習Ⅰ	2
		教育基礎論	2
		学習・発達論	2
		線形数理	2
		情報システムⅠ	2
		情報システムⅡ	2
		ネットワークとセキュリティーⅠ	2
		ネットワークとセキュリティーⅡ	2
		計算機とアルゴリズムⅠ	2
		計算機とアルゴリズムⅡ	2
		コンピューターとプレゼンテーション	2
		解析学Ⅰ	2
		解析学Ⅱ	2
		解析学続論Ⅰ	2
		数学要論Ⅲ	2
		代数学Ⅰ	2
		解析学続論Ⅱ	2
		解析学続論Ⅲ	2
		代数学Ⅱ	2
		代数学Ⅲ	2
		幾何学Ⅰ	2
		幾何学Ⅱ	2
		幾何学Ⅲ	2
		確率・統計Ⅰ	2
		確率・統計Ⅱ	2
		力学	2
		電気磁気学Ⅱ	2
		光量子科学	2
		有機化学Ⅱ	2
		物理化学	2
		生物化学	2
		動物生理学	2
		分子遺伝学	2
		植物生理学	2
		宇宙科学	2
		鉱物科学	2
		環境地球化学	2
		生態学	2
		環境科学	2
		教職基礎演習	1
		数学教材開発指導	2
		理科教材開発指導	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		教職のための数学Ⅰ	2
		教職のための数学Ⅱ	2
		教職のための数学Ⅲ	2
		教職のための物理	2
		教職のための生物	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		教職実践演習（中・高）	2
		エネルギー環境科学実験	2
		生物科学実験	2
		環境化学実験	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		地球科学実験	2
		自然科学探求ゼミナール	2
		数学探求ゼミナール	2

物理学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
物理学基礎実験	2	質点の力学Ⅰ	2
電気・電子工学実験Ⅰ	2	質点の力学Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	線形代数学	2
卒業研究Ⅱ	4	応用数学	2
		基礎電磁気学Ⅰ	2
		基礎電磁気学Ⅱ	2
		コンピュータ入門Ⅰ	2
		コンピュータ入門Ⅱ	2
		情報処理工学	2
		連続体力学	2
		電子工学Ⅰ	2
		電子工学Ⅱ	2
		電気工学概論	2
		システム工学	2
		材料工学	2
		計測工学	2
		応用電磁気学	2
		プログラミング	2
		物理数学入門Ⅱ	2
		物理数学Ⅰ	2
		物理数学Ⅱ	2
		力学Ⅲ	2
		量子力学の基礎	2
		量子力学Ⅰ	2
		量子力学Ⅱ	2
		光物理学	2
		熱力学	2
		統計力学	2
		特性物理学Ⅰ	2
		特性物理学Ⅱ	2
		宇宙科学Ⅰ	2
		宇宙科学Ⅱ	2
		素粒子・原子核物理学	2
		外国語文献講読Ⅰ	2
		外国語文献講読Ⅱ	2
		応用物理学実験	2
		物理学演習	2
		ゼミナールⅠ	1
		ゼミナールⅡ	1
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2
		教職基礎演習	1
		理科教材開発指導	2
		教職のための物理	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2

化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
無機化学Ⅰ	2	無機化学演習	1
無機化学Ⅱ	2	有機化学演習	1
有機化学Ⅰ	2	分析化学演習	1
有機化学Ⅱ	2	物理化学演習	1
分析化学Ⅰ	2	ポリマーの化学	2
分析化学Ⅱ	2	量子化学	2
物理化学Ⅰ	2	化学のための数学	1
物理化学Ⅱ	2	化学トピックス	2
化学実験Ⅰ	1.5	化学特別実験	8
化学実験Ⅱ	1.5	先端化学実験	3
有機化学実験	3	固体化学	2
無機化学実験	3	錯体化学	2
分析化学実験	3	エネルギーの化学	2
物理化学実験	3	有機機器分析	2
情報リテラシー	2	有機構造化学	2
卒業研究Ⅰ	4	バイオ有機化学	2
卒業研究Ⅱ	4	有機反応化学	2
		薬品合成化学	2
		化学反応解析	2
		化学環境論	2
		鑑識の化学	2
		化学技術概論	1
		安全化学	2
		放射線化学	1
		環境分析化学	2
		教職基礎演習	1
		理科教材開発指導	2
		教職のための物理	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		教職のための化学	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2

動物学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物学入門	2	動物誌	2
動物学ゼミナール	2	動物生理学	2
卒業研究Ⅰ	4	動物比較解剖学	2
卒業研究Ⅱ	4	動物機能解剖学	2
		動物遺伝学	2
		生化学	2
		情報リテラシー	2
		パソコン演習	2
		動物と人間	2
		進化動物学Ⅰ	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		進化動物学Ⅱ	1
		環境考古学	2
		細胞遺伝学	2
		植生学	2
		植物生理学	2
		応用統計学	2
		植物系統分類学	2
		環境地球化学	2
		環境科学	2
		動物環境学	2
		動物行動学	2
		生態学	2
		動物系統分類学	2
		寄生動物学	2
		実験動物学	2
		動物関連法規	2
		動物生殖学	2
		動物発生学	2
		動物資源育種学	2
		動物保全学	2
		霊長類学	2
		脊椎動物学Ⅰ	2
		脊椎動物学Ⅱ	2
		脊椎動物学Ⅲ	1
		脊椎動物学Ⅳ	1
		微生物学	2
		動物社会学	2
		動物生態学	2
		集団遺伝学	2
		動物園学	2
		動物言語学	2
		動物心理学	2
		動物病理学	2
		動物生理・生化学実習	2
		動物遺伝学実習	2
		動物発生学実習	2
		動物実験・検査学実習	2
		野外調査実習	2
		動物保全・育種学実習	2
		動物解剖学実習	2
		専門英語Ⅰ	2
		専門英語Ⅱ	2
		教職基礎演習	1
		理科教材開発指導	2
		教職のための物理	2
		教職のための化学	2
		教職のための生物	2
		教職のための地学	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		物理学基礎実験	2
		地学基礎実験	2
		博物館資料論	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		博物館資料保存論	2
		博物館展示論	2

２．工学部

機械システム工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分と積分	2	数学基礎	2
線形代数	2	応用数学	2
機械数学	2	力学基礎	2
微分方程式	2	機械工学セミナー	2
力学Ⅰ	2	数値計算	2
力学Ⅱ	2	機械材料	2
情報リテラシー	2	熱と流れ	2
コンピュータ基礎	2	機械設計学	2
機械製図Ⅰ	2	機械のデザイン	2
機械製図Ⅱ	2	CAEⅠ	2
加工学実習	2	創造PBLⅠ	2
機械工学実験Ⅰ	2	弾塑性力学の基礎	2
機械工学実験Ⅱ	2	エンジン工学	2
材料力学Ⅰ	2	メカトロニクス	2
材料力学Ⅱ	2	CAD／CAM	2
マテリアルサイエンスⅠ	2	CAEⅡ	2
マテリアルサイエンスⅡ	2	創造PBLⅡ	2
熱力学Ⅰ	2	航空宇宙材料の力学	2
熱力学Ⅱ	2	航空流体力学	2
流体力学Ⅰ	2	航行運動学	2
流体力学Ⅱ	2	ロボット工学	2
機械力学Ⅰ	2	専門英語	2
機械力学Ⅱ	2	経営工学	2
計測工学	2	科学技術倫理	2
自動制御Ⅰ	2	技術マネジメント	2
自動制御Ⅱ	2	工業概論	2
機械要素Ⅰ	2	職業指導	4
機械要素Ⅱ	2	木材加工	2
加工学Ⅰ	2	木材加工実習	2
加工学Ⅱ	2	栽培	2
卒業研究Ⅰ	4		
卒業研究Ⅱ	4		

電気電子システム学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
数学Ⅰ	2	応用数学Ⅱ	2
数学Ⅱ	2	電気電子工学実験Ⅲ	1
数学Ⅲ	2	電気電子工学実験Ⅳ	1
応用数学Ⅰ	2	アナログ回路	2
電磁気学Ⅰ	2	電気電子回路設計	2
電磁気学Ⅱ	2	通信工学	2
電磁気学Ⅲ	2	システム制御の基礎	2
FEELプログラム	2	電気電子計測	2
電気電子工学実験Ⅰ	2	電子物性の基礎	2
電気電子工学実験Ⅱ	2	プログラミング基礎	2
情報リテラシー	2	電気エネルギー発生工学	2
コンピュータ実習	2	電気エネルギー変換機器	2
電気回路Ⅰ	2	電気エネルギー伝送工学	2
電気回路Ⅱ	2	パワーエレクトロニクス	2
電気回路Ⅲ	2	制御工学	2
コンピュータ工学Ⅰ	2	システム工学	2
卒業研究Ⅰ	4	ロボット工学	2
卒業研究Ⅱ	4	電子物性工学	2
		半導体工学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		光・電気電子材料	2
		電子デバイス工学	2
		センサ工学	2
		光・電磁波工学	2
		マイクロ波工学	2
		コンピュータ工学Ⅱ	2
		数値計算	2
		光情報工学	2
		画像工学	2
		コンピュータネットワーク	2
		ディジタル回路Ⅰ	2
		ディジタル回路Ⅱ	2
		情報社会と情報倫理	2
		電波法規	1
		機械工学概論	2
		電気法規施設管理	2
		専門英語Ⅰ	2
		専門英語Ⅱ	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		機械製図Ⅰ	2
		加工学実習	2
		機械工学実験Ⅰ	2
		機械工学実験Ⅱ	2
		加工学Ⅰ	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

情報工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報工学フロンティアⅠ	1	応用数学Ⅰ	2
情報工学フロンティアⅡ	1	応用数学Ⅱ	2
情報リテラシー	2	電気回路	2
コンピュータ演習	2	実践プログラミングⅠ	2
情報数学Ⅰ	2	実践プログラミングⅡ	2
情報数学Ⅱ	2	情報理論	2
論理回路Ⅰ	2	ソフトウェア工学	2
コンピュータ工学Ⅰ	2	情報処理実験	2
データ構造とアルゴリズム	2	エンジニアリングデザイン実習	2
基礎プログラミング	2	論理回路Ⅱ	2
応用プログラミング	2	コンピュータ工学Ⅱ	2
情報社会と情報倫理	2	オートマトンと言語理論	2
オペレーティングシステム	2	組込みシステム	2
情報工学実験	2	並列処理	2
卒業研究Ⅰ	4	数値計算	2
卒業研究Ⅱ	4	画像処理とCG	2
		アドバンストプログラミング	2
		ディジタル信号処理	2
		データベース	2
		インタラクティブシステム	2
		システム工学	2
		人工知能	2
		マルチメディア工学	2
		機械学習・AIプログラミング	2
		情報通信基礎論	2
		コンピュータネットワーク実習	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		ネットワークセキュリティ	2
		コンピュータネットワーク	2
		暗号とセキュリティ	2
		ワイヤレスネットワーク	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		職業指導	4

応用化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎化学Ⅰ	2	基礎有機化学	2
基礎化学Ⅱ	2	解析学Ⅰ	2
応用化学基礎演習Ⅰ	1	解析学Ⅱ	2
応用化学基礎演習Ⅱ	1	パソコン演習	2
情報リテラシー	2	数値実験とプレゼンテーション技法	2
フレッシュマンゼミ	1	物理学基礎論Ⅰ	2
専門英語１	2	物理学基礎論Ⅱ	2
専門英語２	2	地学基礎論Ⅰ	2
応用化学実験Ⅰ	3	地学基礎論Ⅱ	2
応用化学実験Ⅱ	3	化学基礎実験	2
応用化学実験Ⅲ	3	物理学基礎実験	2
応用化学実験Ⅳ	3	生物学基礎実験	2
卒業研究Ⅰ	4	地学基礎実験	2
卒業研究Ⅱ	4	生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		分析化学Ⅰ	2
		分析化学Ⅱ	2
		物理化学Ⅰ	2
		物理化学Ⅱ	2
		化学工学Ⅰ	2
		化学工学Ⅱ	2
		有機化学Ⅰ	2
		有機化学Ⅱ	2
		無機化学Ⅰ	2
		無機化学Ⅱ	2
		生化学Ⅰ	2
		生化学Ⅱ	2
		工業分析化学	2
		応用酵素学	2
		高分子化学	2
		ナノサイエンス	2
		反応工学	2
		創薬化学	2
		セラミックス概論	2
		コロイド界面化学	2
		分子生物学	2
		バイオテクノロジー	2
		細胞生理学	2
		発酵生産と生物化学工学	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		職業指導	4

建築学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	測量学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
建築概論	2	建築法規	2
建築材料	2	建築生産	2
設計演習Ⅰ	3	学外研修	2
住宅計画	2	技術者倫理	2
建築計画	2	エコロジカルデザイン	2
設計演習Ⅱ	3	CAD／CG 演習Ⅰ	2
設計演習Ⅲ	3	日本建築史	2
構造力学Ⅰ	2	住宅生産システム	2
構造力学Ⅱ	2	CAD／CG 演習Ⅱ	2
建築環境工学Ⅰ	2	設計演習Ⅳ―1	1.5
建築設備Ⅱ	2	設計演習Ⅳ―2	1.5
特別研究Ⅰ	4	住宅デザイン論	2
特別研究Ⅱ	4	近代建築史	2
		都市計画	2
		住環境ユニバーサルデザイン	2
		インテリアデザイン・色彩学	2
		設計演習Ⅴ―1	1.5
		設計演習Ⅴ―2	1.5
		西洋建築史	2
		建築デザイン論	2
		ランドスケープデザイン	2
		設計演習Ⅵ	2
		設計方法論	2
		構造力学演習	2
		構造力学Ⅲ	2
		構造力学Ⅳ	2
		鋼構造	2
		鉄筋コンクリート構造	2
		木質構造	2
		構造材料実験	2
		耐震・耐風設計	2
		建築基礎構造	2
		構造計画	2
		建築環境工学Ⅱ	2
		建築設備Ⅰ	2
		環境設備工学演習	2
		建築環境設計演習	2
		建築設備設計演習	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		工業概論	2
		機械工学実験Ⅰ	2
		機械工学実験Ⅱ	2
		マテリアルサイエンスⅠ	2
		加工学Ⅰ	2
		加工学実習	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

3．情報理工学部

情報理工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎解析Ⅰ	2	解析	2
基礎解析Ⅱ	2	情報リテラシー	2
線形代数Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
線形代数Ⅱ	2	応用数学Ⅱ	2
情報理工学概論	1	情報システム概論	2
応用プログラミングA	2	ゲーム概論	2
プログラミング基礎	2	情報処理入門	2
プロジェクト科目Ⅰ	2	応用プログラミングB	2
プロジェクト科目Ⅱ	2	情報社会と情報倫理	2
電子計算機概論	2	情報関連法学	2
卒業研究Ⅰ	4	データ構造とアルゴリズムⅠ	2
卒業研究Ⅱ	4	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
		インターネット入門	1
		アルゴリズム入門	1
		クリエイティブチャレンジⅠ	2
		クリエイティブチャレンジⅡ	2
		ロボット知能化演習	2
		ロボット創造工学Ⅰ	2
		ロボット創造工学Ⅱ	2
		質点力学	2
		剛体力学	2
		電磁気学	2
		材料力学	2
		フルードパワーシステム	2
		機械力学	2
		制御工学	2
		機械要素設計	2
		加工学・実習	2
		ロボットデザイン演習Ⅰ	2
		ロボットデザイン演習Ⅱ	2
		IoT プロジェクト演習	2
		情報科学のための数学	2
		数理計画法	2
		オートマトン	2
		応用数学Ⅲ	2
		セキュリティと情報管理	2
		コンピュータネットワーク	2
		暗号理論	2
		ネットワークプログラミング	2
		ネットワークセキュリティ	2
		Web アプリケーション演習Ⅰ	2
		Web アプリケーション演習Ⅱ	2
		データベース	2
		情報理論	2
		データベース演習	2
		AI プログラミングⅠ	2
		AI プログラミングⅡ	2
		AI の数理	2
		機械学習Ⅰ	2
		自然言語処理	2
		AI システム演習	2
		データサイエンス	2
		データ解析プログラミング	2
		データ工学	2
		機械学習Ⅱ	2
		ゲームプログラミングⅠ	2
		ゲームプログラミングⅡ	2
		ゲームシステム概論	2
		ゲームプロジェクト論	2
		ゲーミフィケーション	2
		ゲーム制作論	2
		ゲームメカニクス	2
		マルチメディア情報処理	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		コンピュータグラフィックスⅠ	2
		コンピュータビジョン	2
		デザインワークショップ	2
		コンピュータグラフィックスⅡ	2
		ゲーム作成演習	2
		AI ロボットデザイン概論	1
		ロボット工学	2
		ロボットビジョン	2
		バーチャルリアリティ	2
		ロボット制御プログラミング	2
		知的制御システム論	2
		電子回路	2
		センサ工学	2
		アクチュエータ機構学	2
		組込みシステムプログラミング	2
		人間工学	2
		ユニバーサルデザイン	2
		生活支援工学	2

4．生命科学部

生物科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	生命科学概論Ⅰ	2
卒業研究Ⅰ	4	生命科学概論Ⅱ	2
卒業研究Ⅱ	4	生命科学のための生物学	2
		生命科学のための化学	2
		生命科学のための物理学	2
		生命物質化学	2
		分子遺伝学	2
		細胞生物学	2
		生物有機化学	2
		微生物学	2
		分析化学	2
		動物生理学	2
		植物科学	2
		生体反応化学	2
		生物統計と生化学計算法	2
		専門英語	2
		タンパク質科学	2
		生体物質の代謝学	2
		免疫生物学	2
		細胞分子生物学	2
		遺伝子工学	2
		ゲノム科学	2
		発生生物学	2
		バイオサイエンス実験	3
		発酵と食品科学	2
		植物栽培学	2
		微生物の産業利用	2
		生物間共生学	2
		魚類飼育論	2
		アクアリウム環境論	2
		応用植物資源学	2
		植物育種学	2
		水産生物学実習	1
		生物生産実験	3
		コスメティックサイエンス概論	2
		化粧品開発のための皮膚生物学	2
		皮膚毛髪の発生再生学	2
		香粧品学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		食品安全衛生学	2
		食薬学	2
		食品機能学	2
		コスメ･食品実験	3
		環境科学	2
		環境公衆衛生学	2
		環境生態保全学	2
		グリーン物質合成化学	2
		生活環境学	2
		機器分析法	2
		環境科学実験	3
		生体材料学	2
		組織工学	2
		再生医学	2
		人工臓器概論	2
		医用ナノテクノロジー	2
		医用生物学実験	3
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2

５．生物地球学部
生物地球学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	野外調査法実習Ⅱ	2
生物地球概論Ⅰ	2	生物科学概論	2
生物地球概論Ⅱ	2	考古学概論	2
野外調査法実習Ⅰ	2	地球科学概論	2
卒業研究Ⅰ	5	天文学概論	2
卒業研究Ⅱ	5	気象学概論	2
		生物学実習	2
		天文地学実習	2
		応用統計学	2
		天文気象・地球の数学	2
		植物系統分類学	2
		植物生態学	2
		植物形態学	2
		細胞遺伝学	2
		解剖生理学	2
		植生学	2
		植物学実習	4
		動物行動学	2
		昆虫科学	2
		自然史研究法	2
		環境生理学	2
		動物生態学	2
		昆虫生理・生態学	2
		進化生態学	2
		環境動物学	2
		島嶼生物学	2
		応用昆虫学	2
		動物生態学実習	4
		昆虫学実習	4
		環境考古学	2
		地誌学	2
		自然地理学	2
		人類学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		先史考古学	2
		人類学考古学基礎実習	2
		人類学考古学実習	4
		東アジア考古学	2
		欧米考古学	2
		技術考古学	2
		人文地理学	2
		水理学	1
		地震学	2
		地質学	2
		地質図学	2
		地球化学	1
		固体地球科学	2
		宇宙生命学	2
		災害地質学	2
		測量・地理情報システム	1
		土木地質学	1
		土質・岩盤力学	1
		大気物理学	2
		天気図解析	1
		地学実習	4
		天文学史	2
		天体力学	2
		天体物理学Ⅰ	2
		天体物理学Ⅱ	2
		天文データ解析	2
		天文気象学実習	4
		古脊椎動物学	2
		野外博物館実習（生物学）	3
		野外博物館実習（人類考古学）	3
		野外博物館実習（地学）	3
		野外博物館実習（天文気象学）	3
		総合演習Ⅰ	2
		総合演習Ⅱ	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		博物館資料論	2
		博物館資料保存論	2
		博物館展示論	2

６．経営学部

経営学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	経営学基礎	2
基礎教養ゼミナール	2	商学基礎	2
イノベーション・ラボⅠ	4	経済学基礎	2
イノベーション・ラボⅡ	4	簿記基礎	2
卒業研究Ⅰ	2	応用情報リテラシー	2
卒業研究Ⅱ	2	統計学基礎	2
		心理学入門	2
		スポーツマネジメント基礎	2
		スポーツデータ基礎	2
		マーケティング論	2
		マーケティング戦略	2
		サービスマネジメント	2
		サービス社会システム	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		消費者行動	2
		マーケティング・コミュニケーション	2
		国際経営戦略	2
		まちづくりと商業	2
		観光ビジネス	2
		企業と経営	2
		アントレプレナーシップ	2
		ビジネスモデル	2
		事業デザイン	2
		経営戦略	2
		イノベーション戦略	2
		経営組織	2
		人的資源管理	2
		ファイナンシャルプランニング１	2
		ファイナンシャルプランニング２	2
		簿記原理	2
		財務会計	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		社会調査入門	2
		調査と分析	2
		データサイエンス入門	2
		ビジネスデータ分析	2
		データサイエンスと分析	2
		意思決定論	2
		マーケティング・サイエンス	2
		マーケティング・モデリング	2
		デジタルマーケティング	2
		マーケティング・データ分析入門	2
		マーケティング・データ分析	2
		社会心理学	2
		心理データ分析	2
		スポーツデータ解析	2
		現代スポーツメディア論	2
		スポーツマーケティング論	2
		地域スポーツ経営論	2
		デジタルスポーツビジネス論	2
		スポーツと地域イノベーション	2
		スポーツデータ演習	2
		スポーツキャリアデザイン１	2
		スポーツキャリアデザイン２	2
		スポーツ社会調査	2
		スポーツ戦略	2
		スポーツトレーニング論	2
		スポーツコーチング論	2
		スポーツ現場実習	2

別表Ⅲ　教職関連科目の単位数

教職関連科目は全学共通とする。ただし、生物地球学部恐竜学科は別表Ⅵによるものとする。

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
特別支援教育の基礎と方法	1	
教育課程論	2	
数学科教育法Ⅰ	2	該当免許教科の教育法を履修
数学科教育法Ⅱ	2	

授業科目	単位数	備考
数学科教育法Ⅲ	2	
数学科教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の指導法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	1	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	
介護等体験の基礎と方法	1	

別表Ⅳ　学芸員関連科目の単位数

学芸員関連科目は全学共通とする。ただし、生物地球学部恐竜学科は別表Ⅵによるものとする。

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習Ⅰ	2
博物館実習Ⅱ	1	自然と文化を学ぶ	2
自然と文化を守る	2	自然と文化を活かす	2
博物館キャリア研修１	1	博物館キャリア研修２	2
博物館キャリア研修３	3	博物館キャリア研修４	4

別表Ⅴ　生命科学部医療技術学科の授業科目、単位数及び必修、選択の別

１．基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
情報リテラシー	2	キャリアデザイン２	1
初修外国語１	2	キャリアデザイン３	1
		キャリアデザイン４	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2
		学びの基礎論１	2
		学びの基礎論２	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		インターンシップ入門	1
		インターンシップＡ	1
		インターンシップＢ	2
		インターンシップＣ	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ＩＡ	1
		グローバル研修ＩＢ	1
		グローバル研修ＩＣ	1
		グローバル研修ⅡＡ	2
		グローバル研修ⅡＢ	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		フィットネス	1
		アドベンチャースポーツ	2
		ウインタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくＡ	2
		人間を読みとくＢ	2
		文化を読みとくＡ	2
		文化を読みとくＢ	2
		社会を読みとくＡ	2
		社会を読みとくＢ	2
		日本国憲法	2
		関係法規	1
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		コンピュータ演習	2
		情報科学概論	1
		情報処理工学	2
		基盤数学（微分積分１）	2
		基盤数学（微分積分２）	2
		基盤数学（線形代数）	2
		基盤物理学１	2
		基盤物理学２	2
		基盤化学１	2
		基盤化学２	2
		基盤生物学１	2
		基盤生物学２	2
		基盤地学１	2
		基盤地学２	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		基礎英語	2
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2
		Presentation	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語２	2
		基盤日本語１	2
		基盤日本語２	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		ＩＢ教育課程・方法論	2
		ＩＢ教育評価論	2
		ＤＰ数学	2
		ＤＰ化学	2
		ＤＰ教育実践研究１	2
		ＤＰ教育実践研究２	2
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習１	1
		ワインプロジェクト実習２	1
		ワインプロジェクト実習３	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導１	1
		科学ボランティア実践指導２	1
		科学ボランティア教材研究	1
		科学ボランティア活動１	1
		科学ボランティア活動２	1
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ・ゼミナール	2
		リーダーシップ研修Ａ（国内）	1
		リーダーシップ研修Ｂ（海外）	2
		リーダーシップ実践Ａ（国内）	2
		リーダーシップ実践Ｂ（学内）	2
		リーダーシップ実践Ｃ（海外）	2
		マナーマイスター講座初級	2
		マナーマイスター・チャレンジ	2
		マナーマイスター・アドバンストＡ（海外）	2
		マナーマイスター・アドバンストＢ（国内）	2

２．専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
医学概論	1	生命科学概論Ⅰ	2
特別研究	2	生命科学概論Ⅱ	2
		生命科学のための生物学	2
		生命科学のための化学	2
		生命科学のための物理学	2
		公衆衛生学	2
		生理学Ⅰ	2
		生理学Ⅱ	2
		解剖学	2
		栄養学	2
		病理学	2
		生化学	2
		医用工学概論	2
		生体物性工学	2
		医用材料工学	2
		微生物学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		免疫学	2
		薬理学	2
		再生医療移植学	1
		検査総合管理学	2
		臨床医学総論Ⅰ	2
		臨床医学総論Ⅱ	2
		臨床医学総論Ⅲ	2
		臨床栄養学	2
		生理検査学Ⅰ	2
		生理検査学Ⅱ	2
		医療安全管理学	1
		病理検査学Ⅰ	2
		病理検査学Ⅱ	1
		分子遺伝学	2
		生化学検査学	2
		一般検査寄生虫学	2
		血液検査学Ⅰ	2
		血液検査学Ⅱ	1
		輸血検査学	2
		病原微生物学	2
		先端医学機器論	2
		生理学実習	2
		生理検査学実習	2
		医療安全管理学実習	1
		病理学実習	2
		遺伝子検査学実習	1
		生化学検査学実習	1
		一般検査寄生虫学実習	1
		血液検査学実習	1
		輸血移植検査学実習	1
		免疫検査学実習	1
		微生物検査学実習	2
		医用工学実習	1
		医科学研究論	1
		臨地実習Ⅰ	2
		臨地実習Ⅱ	2
		臨地実習Ⅲ	12
		基礎医学実習	1
		チーム医療概論	1
		電気工学Ⅰ	2
		電気工学Ⅱ	2
		電気工学演習	1
		電気・電子工学実験	2
		電子工学	2
		電子工学演習	1
		医用機械工学	2
		システム工学	2
		計測工学	2
		医用機器学概論	2
		医用治療機器学	2
		医用治療機器学実習	1
		医用生体計測装置学	2
		医用生体計測装置学実習	1
		臨床支援技術学	2
		生体機能代行装置学Ⅰ	4
		生体機能代行装置学Ⅱ	4
		生体機能代行装置学Ⅲ	2
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	1
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	1
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		医療安全学	2
		医用機器安全管理学Ⅰ	2
		医用機器安全管理学Ⅱ	2
		医用機器安全管理学実習	1
		臨床医学総論Ⅳ	2
		臨床実習Ⅰ	1
		臨床実習Ⅱ	1
		臨床実習Ⅲ	2
		臨床実習Ⅳ	2
		臨床実習Ⅴ	1
		ME 技術演習	1
		臨床工学演習Ⅰ	1
		臨床工学演習Ⅱ	1
		ゼミナールⅠ	1
		ゼミナールⅡ	1

別表Ⅵ　生物地球学部恐竜学科の授業科目、単位数及び必修、選択の別

１．基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
初修外国語１	2	キャリアデザイン２	1
		キャリアデザイン３	1
		キャリアデザイン４	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2
		学びの基礎論１	2
		学びの基礎論２	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップA	1
		インターンシップB	2
		インターンシップC	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ⅠA	1
		グローバル研修ⅠB	1
		グローバル研修ⅠC	1
		グローバル研修ⅡA	2
		グローバル研修ⅡB	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		フィットネス	1
		アドベンチャースポーツ	2
		ウィンタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくA	2
		人間を読みとくB	2
		文化を読みとくA	2
		文化を読みとくB	2
		社会を読みとくA	2
		社会を読みとくB	2
		日本国憲法	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		経営とDX	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学（微分積分1）	2
		基盤数学（微分積分2）	2
		基盤数学（線形代数）	2
		基盤物理学1	2
		基盤物理学2	2
		基盤化学1	2
		基盤化学2	2
		基盤生物学1	2
		基盤生物学2	2
		基盤地学1	2
		基盤地学2	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		DXと技術	2
		基礎英語	2
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語2	2
		基盤日本語1	2
		基盤日本語2	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		IB教育課程・方法論	2
		IB教育評価論	2
		DP数学	2
		DP理科	2
		DP教育実践研究1	2
		DP教育実践研究2	2
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習1	1
		ワインプロジェクト実習2	1
		ワインプロジェクト実習3	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導1	1
		科学ボランティア実践指導2	1
		科学ボランティア教材研究	1
		科学ボランティア活動1	1
		科学ボランティア活動2	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ・ゼミナール	2
		リーダーシップ研修A（国内）	1
		リーダーシップ研修B（海外）	2
		リーダーシップ実践A（国内）	2
		リーダーシップ実践B（学内）	2
		リーダーシップ実践C（海外）	2
		マナーマイスター講座初級	2
		マナーマイスター・チャレンジ	2
		マナーマイスター・アドバンストA（海外）	2
		マナーマイスター・アドバンストB（国内）	2

２．専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	生物科学概論	2
生物地球概論Ⅰ	2	考古学概論	2
生物地球概論Ⅱ	2	地球科学概論	2
古生物学基礎実習Ⅰ	2	生物学実習	2
古生物学基礎実習Ⅱ	2	天文地学実習	2
恐竜古生物学ゼミナール	1	応用統計学	2
卒業研究Ⅰ	4	植物系統分類学	2
卒業研究Ⅱ	4	動物行動学	2
		細胞遺伝学	2
		気象学概論	2
		地質学	2
		天文学概論	2
		古脊椎動物学	2
		環境生理学	2
		動物生態学	2
		解剖生理学	2
		植生学	2
		モンゴル恐竜学概論	2
		古生物学概論	2
		層位古生物学	2
		恐竜学基礎論	2
		恐竜学Ⅰ	2
		恐竜学Ⅱ	2
		化石研究法	2
		古生物学データ解析	2
		生物地理学	2
		古哺乳類学	2
		モンゴル発掘エクスカーション	2
		古生物のための基礎病理学	2
		分子古生物学	2
		骨組織学	2
		古生理学	2
		古生態学	2
		タフォノミー論	2
		解剖組織学実習	2
		古環境学	2
		堆積学	2
		動物系統分類学	2
		地史学Ⅰ	2
		地史学Ⅱ	2
		博物館標本作製法	2
		比較形態学実習	2
		恐竜古生物学特別講義	1
		恐竜学博物館演習	3
		恐竜学博物館実習	3
		物理学基礎論Ⅰ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		博物館資料論	2
		博物館資料保存論	2
		博物館展示論	2

３．教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
特別支援教育の基礎と方法	1	
教育課程論	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の指導法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	1	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	
介護等体験の基礎と方法	1	

４．学芸員関連科目の単位数は、次のとおりである。

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	教育学原論	2
博物館教育論	1	博物館情報論	2
博物館キャリア研修１	1	博物館キャリア研修２	2
博物館キャリア研修３	3	博物館キャリア研修４	4

別表Ⅶ　教育学部の授業科目、単位数及び必修、選択の別

１．基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
初修外国語１	2	キャリアデザイン２	1
教職論	2	キャリアデザイン３	1
教育学原論	2	キャリアデザイン４	1
教育心理学	2	セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2
		学びの基礎論	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		インターンシップＡ	1
		インターンシップＢ	2
		インターンシップＣ	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ＩＡ	1
		グローバル研修ＩＢ	1
		グローバル研修ＩＣ	1
		グローバル研修ⅡＡ	2
		グローバル研修ⅡＢ	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		フィットネス	1
		ウインタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくＡ	2
		人間を読みとくＢ	2
		文化を読みとくＡ	2
		文化を読みとくＢ	2
		社会を読みとくＡ	2
		社会を読みとくＢ	2
		日本国憲法	2
		経営とＤＸ	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学（微分積分１）	2
		基盤数学（微分積分２）	2
		基盤数学（線形代数）	2
		基盤物理学１	2
		基盤物理学２	2
		基盤化学１	2
		基盤化学２	2
		基盤生物学１	2
		基盤生物学２	2
		基盤地学１	2
		基盤地学２	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		ＤＸと技術	2
		基礎英語	2
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語２	2
		基盤日本語１	2
		基盤日本語２	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		ＩＢ教育課程・方法論	2
		ＩＢ教育評価論	2
		ＤＰ数学	2
		ＤＰ理科	2
		ＤＰ教育実践研究１	2
		ＤＰ教育実践研究２	2
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習１	1
		ワインプロジェクト実習２	1
		ワインプロジェクト実習３	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導１	2
		科学ボランティア実践指導２	1
		科学ボランティア活動１	1
		科学ボランティア活動２	1
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ研修	2
		リーターシップ実践	2
		マナー・和文化講座	2
		教育史	2
		教育課程論	2
		特別支援教育論	2
		学習心理学	2

２．専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

初等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
初等国語科内容論	2	初等社会科内容論	2
初等理科内容論	2	算数科内容論	2
初等英語科内容論	1	生活科内容論	2
書写	1	初等音楽科内容論	2
初等国語科教育法	2	図画工作科内容論	2
初等社会科教育法	2	初等家庭科内容論	2
算数科教育法	2	初等体育科内容論	2
初等理科教育法	2	学習心理学	2
生活科教育法	2	教育行政学	2
初等音楽科教育法	2	教育社会学	2
図画工作科教育法	2	学校経営	2
初等家庭科教育法	2	小学校教育実習事前・事後指導	1
初等体育科教育法	2	小学校教育実習Ⅰ	2
初等英語科教育法	2	小学校教育実習Ⅱ	2
道徳教育の理論と方法（初等）	2	教職実践演習（小学校）	2
総合的な学習の時間の理論と方法（初等）	2	教育学演習（教育史）	2
特別活動の理論と方法（初等）	2	教育学演習（教育社会学）	2
教育の方法と技術（初等）	2	教育学演習（教育心理学）	2
生徒・進路指導論（初等）	2	教材分析・開発演習Ａ（国語・算数・社会）	2
教育相談の理論と方法（初等）	2	教材分析・開発演習Ｂ（理科・生活・家庭）	2
教育現場観察実習（初等）	1	教材分析・開発演習Ｃ（音楽・図工・体育）	2
情報リテラシー	2	理数教育の方法と実践	2
ICT 活用教育	2	ピアノ奏法Ⅱ	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
ピアノ奏法Ⅰ	1	ピアノ奏法Ⅲ	1
専門英語Ⅰ	1	ESD 理論と実践	2
専門英語Ⅱ	1	シティズンシップ教育	2
現代教育課題論	2	国際理解教育概論	2
現代教育課題研究	2	国際比較教育論	2
探究ゼミⅠ	1	現代社会と地域と子ども	2
探究ゼミⅡ	1	多文化コミュニケーション活動	1
探究ゼミⅢ	1	探究活動ⅡA	1
探究活動Ⅰ	1	探究活動ⅡB	1
教育研究ゼミナール	2	探究活動ⅡC	1
卒業研究Ⅰ	2	教育ボランティアⅠ	1
卒業研究Ⅱ	2	教育ボランティアⅡ	1
		フィールド観察実習	1

中等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
教育現場観察実習	1	日本語学概論	2
情報リテラシー	2	日本語文法	2
ICT 活用教育	2	日本語史	2
現代教育課題論	2	日本語表現	2
現代教育課題研究	2	国語科内容論A	2
対照言語論	2	日本文学概論	2
専門英語Ⅰ	1	日本文学史	2
専門英語Ⅱ	1	日本文学Ⅰ（古典）	2
探究ゼミⅠ	1	日本文学Ⅱ（近・現代）	2
探究ゼミⅡ	1	国語科内容論B	2
探究ゼミⅢ	1	漢文学概論	2
探究活動Ⅰ	1	漢文学Ⅰ	2
現代人とことば	2	漢文学Ⅱ	2
教育研究ゼミナール	2	国語科内容論C	2
卒業研究Ⅰ	2	書写・書道	1
卒業研究Ⅱ	2	英語学概論	2
		現代英文法	2
		英語史	2
		応用言語学	2
		英語科内容論A	2
		英語文学概論	2
		英語文学史	2
		英語文学講読	2
		英語科内容論B	2
		英語コミュニケーションⅠ	2
		英語コミュニケーションⅡ	2
		国際理解教育概論	2
		異文化理解	2
		英語科内容論C	2
		教育行政学	2
		教育社会学	2
		学校経営	2
		国語科教育法Ⅰ	2
		国語科教育法Ⅱ	2
		国語科教育法Ⅲ	2
		国語科教育法Ⅳ	2
		英語科教育法Ⅰ	2
		英語科教育法Ⅱ	2
		英語科教育法Ⅲ	2
		英語科教育法Ⅳ	2
		日本語教育入門	2
		日本語教育法Ⅰ	2
		日本語教育法Ⅱ	2
		日本語授業の分析と評価	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		道徳教育の理論と方法	2
		特別活動の理論と方法	2
		教育の方法と技術	2
		生徒・進路指導論	2
		教育相談の理論と方法	2
		総合的な学習の時間の理論と方法	2
		教育実習事前・事後指導	1
		教育実習Ⅰ	1
		教育実習Ⅱ	3
		教職実践演習（中・高）	2
		日本語教育実習	3
		教育学演習（教育史）	2
		教育学演習（教育社会学）	2
		教育学演習（教育心理学）	2
		国語科教材分析・開発演習A	2
		国語科教材分析・開発演習B	2
		国語科教材分析・開発演習C	2
		国語科教育の内容と実践	2
		英語科教材分析・開発演習A	2
		英語科教材分析・開発演習B	2
		英語科教材分析・開発演習C	2
		英語科教育の内容と実践	2
		日本語教育演習	2
		日本語音韻論と実践	2
		現代日本語の多様性と運用	1
		ESD理論と実践	2
		異文化受容と適応	2
		シティズンシップ教育	2
		国際比較教育論	2
		東アジアの言語と文化	2
		現代社会と地域と子ども	2
		Practical CommunicationⅠ	1
		Practical CommunicationⅡ	1
		Practical CommunicationⅢ	1
		Practical CommunicationⅣ	1
		多文化コミュニケーション活動	1
		探究活動ⅡA	1
		探究活動ⅡB	1
		探究活動ⅡC	1
		英語探究Ⅰ	1
		英語探究Ⅱ	1
		英語探究Ⅲ	1
		英語探究Ⅳ	1
		英語探究Ⅴ	1
		英語探究Ⅵ	1
		国語探究Ⅰ	1
		国語探究Ⅱ	1
		教育ボランティアⅠ	1
		教育ボランティアⅡ	1

別表Ⅷ　獣医学部の授業科目、単位数及び必修、選択の別

１．基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

獣医学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
情報リテラシー	2	キャリアデザイン２	1
読解英語１	1	キャリアデザイン３	1
発信英語１	1	キャリアデザイン４	1
読解英語２　※	1	ライフ・ビルディング	2
発信英語２　※	1	学びの基礎論１	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
学術英語　※	1	学びの基礎論２	2
専門英語　※	1	理解と表現１	2
		理解と表現２	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップＡ	1
		インターンシップＢ	2
		インターンシップＣ	3
		グローバル研修ＩＡ	1
		グローバル研修ＩＢ	1
		グローバル研修ＩＣ	1
		グローバル研修ⅡＡ	2
		グローバル研修ⅡＢ	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		ウィンタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくＡ	2
		人間を読みとくＢ	2
		文化を読みとくＡ	2
		文化を読みとくＢ	2
		社会を読みとくＡ	2
		社会を読みとくＢ	2
		日本国憲法	2
		経営とＤＸ	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤化学	2
		基盤生物学	2
		ＤＸと技術	2
		作文英語	1
		多読英語	1
		文化英語	1
		発表英語	1
		検定英語	1
		メディア英語	1
		初修外国語１	1
		初修外国語２	1
		基盤日本語１	1
		基盤日本語２	1
		日本語読解作文	1
		日本語口語表現	1

※獣医保健看護学科においては、「読解英語２」「発信英語２」「学術英語」「専門英語」を選択科目とする。

２．専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

獣医学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物関連キャリア概論	1	人間・動物関係学	2
生命倫理学	1	生物統計	1
獣医事法規	1	生産農学概論	1
生命科学	1	水産増養殖学	2
獣医分子生物学	1	飼料作物学	2
生命科学実習	1	栄養学	2
化学	1	分子細胞腫瘍学	1
生物物理学	1	発生工学	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
放射線生物学	1	獣医病態モデル学	1
動物福祉論	1	創薬科学	1
科学倫理学	1	トランスレーショナル・リサーチ	1
獣医生化学	2	比較動物機能科学	1
獣医生化学実習	1	修復・再生医療科学	1
獣医生理学	2	国際ライフサイエンス産業政策論	2
獣医生理学実習	1	ライフサイエンス特別実習	1
獣医形態機能学Ⅰ	1	国際獣医事概論	1
獣医形態機能学Ⅱ	2	国際動物関連法規	1
獣医解剖学実習	2	レギュラトリー科学	1
獣医組織学実習	1	国際動物疾病学	1
獣医薬理学総論	1	国際野生動物管理学	1
獣医薬理学各論	2	産業動物疾病予防管理学	1
獣医薬理学実習	1	産業動物疾病診断病理学	1
獣医微生物学	2	セキュリティー学	1
獣医微生物学実習	2	グローバル食品管理科学	1
獣医毒性学	2	医薬品・食品安全性評価演習	1
獣医毒性学実習	1	国際獣医法医学	1
動物実験学	2	動物危機管理学	2
獣医実験動物学実習	1	国際生物資源学	1
獣医病理学総論	1	人獣共通感染症学実習	1
獣医病理学各論	2	公共獣医事情報解析実習	1
獣医病理解剖学実習	1	分子疫学	1
獣医病理学実習	1	獣医臨床疫学演習	1
獣医免疫学	2	エキゾチックアニマル学	1
獣医免疫学実習	1	抗菌薬バイオロジー	1
臨床検査学入門	1	国際展示動物疾病学	1
動物行動学	2	トランスレーショナル・ベテリナリーメディシン	1
野生動物学	2	免疫関連疾病学	1
動物感染症学	2	獣医高度臨床学	1
魚病学	2	チーム獣医療学	1
魚病学実習	1	総合臨床検査特別実習	1
医動物学	2		
医動物学実習	1		
人獣共通感染症学	2		
獣医公衆衛生学総論	2		
獣医公衆衛生学実習	1		
食品衛生学	2		
食品衛生学実習	1		
環境衛生学	2		
獣医疫学	2		
遺伝育種学	2		
家禽疾病学	1		
動物衛生学	1		
動物衛生学実習	1		
獣医臨床薬理学	1		
獣医臨床栄養学	1		
獣医内科学総論	1		
獣医臨床病理学	1		
獣医呼吸・循環器病学	2		
獣医消化器病学	2		
獣医泌尿生殖器病学	2		

必修科目	単位数	選択科目	単位数
獣医内分泌代謝学	2		
獣医神経病学	1		
獣医血液・免疫病学	1		
獣医皮膚病学	1		
獣医眼科学	1		
動物行動治療学	1		
小動物内科学実習	1		
獣医外科学総論	1		
獣医手術学総論	1		
獣医麻酔科学	1		
獣医軟部組織外科学	2		
獣医運動器病学	2		
獣医臨床腫瘍学	1		
獣医画像診断学	2		
小動物外科学実習	1.5		
獣医画像診断学実習	1		
産業動物臨床学	2		
馬臨床学	1		
獣医臨床繁殖学	2		
産業動物臨床実習	2		
獣医臨床繁殖学実習	1		
総合獣医学演習Ⅰ	1		
総合獣医学演習Ⅱ	1		
獣医療面接実習	0.5		
総合参加型臨床実習	6		
獣医キャリアスキルアップ研修	2		
卒業論文Ⅰ	2		
卒業論文Ⅱ	2		
卒業論文Ⅲ	2		

獣医保健看護学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物関連キャリア概論	1	生命科学	1
基礎科学技術実習	1	動物分子生物学	1
生命倫理・動物福祉	2	化学	1
動物看護関連法規	1	生物物理学	1
動物愛護・適正飼養関連法規	1	生物統計	1
比較動物学	2	獣医疫学	2
動物形態機能学A	2	遺伝育種学	2
動物形態機能学B	2	バイオセーフティ学	1
動物形態機能学C	1	生産農学概論	1
動物形態機能学D	2	産業動物学	2
動物形態機能学実習	1	産業動物学実習	1
動物繁殖学	2	実験動物学A	1
動物栄養学	2	実験動物学実習A	1
動物行動学	2	適正飼養指導論	1
人と動物の関係学	2	動物生活環境学	1
愛玩動物学	2	ペット関連産業概論	1
動物看護学概論	2	動物愛護・適正飼養実習	1
動物薬理学A	1	動物病理学	2
動物感染症学A	2	動物薬理学B	2
動物感染症学C	2	動物薬理学実習	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
公衆衛生学A	2	動物感染症学B	2
公衆衛生学B	2	動物感染症学実習A	1
動物内科看護学A	2	動物感染症学実習C	1
動物臨床看護学総論	2	動物内科看護学B	2
動物臨床看護学各論A	2	動物内科看護学実習A	1
動物臨床看護学各論B	2	動物内科看護学実習B	1
動物臨床看護学各論C	2	動物内科看護学実習C	1
動物臨床検査学	2	動物外科看護学	2
プレゼミナールⅠ	2	動物外科看護学実習A	1
プレゼミナールⅡ	2	動物外科看護学実習B	1
		動物臨床検査学実習	1
		実験動物学B	2
		実験動物学実習Ｂ１	1
		実験動物学実習Ｂ２	1
		動物毒性学	2
		動物毒性学実習	1
		トランスレーショナル・リサーチ	1
		獣医病態モデル学	1
		遺伝子工学	1
		家畜繁殖学	2
		食品衛生学	2
		家畜疾病学	1
		医薬品・食品安全性評価演習	1
		動物園・水族館学	1
		野生動物学	2
		産業動物疾病予防管理学	1
		人工授精学	1
		人工授精学実習	1
		エキゾチックアニマル学	1
		動物医療コミュニケーション	1
		動物理学療法学演習	2
		チーム獣医療学	1
		高齢動物看護学	1
		動物臨床看護学実習	1
		動物看護総合実習A	1
		動物看護総合実習B	1
		動物看護総合実習C	1
		動物看護総合実習D	1
		ゼミナールⅠ	2
		ゼミナールⅡ	2
		卒業研究Ⅰ	4
		卒業研究Ⅱ	4

別表Ⅸ　アクティブラーナーズコースの授業科目、単位数及び必修、選択の別

１．基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン１	1
初修外国語１	2	キャリアデザイン２	1
		キャリアデザイン３	1
		キャリアデザイン４	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		学びの基礎論	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップＡ	1
		インターンシップＢ	2
		インターンシップＣ	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ＩＡ	1
		グローバル研修ＩＢ	1
		グローバル研修ＩＣ	1
		グローバル研修ⅡＡ	2
		グローバル研修ⅡＢ	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		グローバルエリート入門	2
		フィットネス	1
		ウィンタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくＡ	2
		人間を読みとくＢ	2
		文化を読みとくＡ	2
		文化を読みとくＢ	2
		社会を読みとくＡ	2
		社会を読みとくＢ	2
		日本国憲法	2
		経営とＤＸ	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学（微分積分１）	2
		基盤数学（微分積分２）	2
		基盤数学（線形代数）	2
		基盤物理学１	2
		基盤物理学２	2
		基盤化学１	2
		基盤化学２	2
		基盤生物学１	2
		基盤生物学２	2
		基盤地学１	2
		基盤地学２	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		ＤＸと技術	2
		基礎英語	2
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語２	2
		基盤日本語１	2
		基盤日本語２	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		ＩＢ教育課程・方法論	2
		ＩＢ教育評価論	2
		教職論	2
		教育学原論	2
		教育史	2
		教育心理学	2
		教育課程論	2
		特別支援教育論	2
		学習心理学	2
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ研修	2
		リーダーシップ実践	2
		マナー・和文化講座	2

２．専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

アクティブラーナーズ修得科目

必修科目	単位数	選択科目	単位数
ラーニングデザイン	2	チームプロジェクトA	2
リフレクション手法１	2	チームプロジェクトB	2
リフレクション手法２	2	ファシリテーション入門	2
課題・問題発見演習	2	ファシリテーション実践	2
チームトライアル	2	アドバイジング実践	2
アクティブラーナーズ実践Ⅰ	3	研究トライアル	2
アクティブラーナーズ実践Ⅱ	3		

ブランドプログラム科目

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習１	1
		ワインプロジェクト実習２	1
		ワインプロジェクト実習３	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導１	2
		科学ボランティア実践指導２	1
		科学ボランティア活動１	1
		科学ボランティア活動２	1

アクティブラーナーズコースの専門教育科目には、上記に定めるもののほか、別表Ⅱ・別表Ⅴ・別表Ⅵ・別表Ⅶに定める学部学科の専門教育科目を選択科目として加える。

別表Ｘ（納付金）

１．入学検定料　35,000 円

だだし、大学入学共通テストを利用する入学試験を受験する者の入学検定料は 20,000 円とする。

２．入学金　　220,000 円

３．授業料・その他納付金（年間）　　（単位：円）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">授業料</th><th colspan="3">その他納付金</th></tr>
<tr><th colspan="2">実験実習費</th><th colspan="2">施設設備費</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">理学部
工学部
情報理工学部
生命科学部
生物地球学部
アクティブラーナーズコース</td><td rowspan="2">845,000</td><td colspan="2" rowspan="2">165,000</td><td>1年次</td><td>300,000</td></tr>
<tr><td>2年次以降</td><td>460,000</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">教育学部
経営学部</td><td rowspan="2">845,000</td><td colspan="2" rowspan="2">50,000</td><td>1年次</td><td>85,000</td></tr>
<tr><td>2年次以降</td><td>245,000</td></tr>
<tr><td rowspan="4">獣医学部</td><td rowspan="2">獣医学科</td><td rowspan="2">1,500,000</td><td>1年次</td><td>280,000</td><td colspan="2" rowspan="2">500,000</td></tr>
<tr><td>2年次以降</td><td>436,000</td></tr>
<tr><td rowspan="2">獣医保健看護学科</td><td rowspan="2">845,000</td><td colspan="2" rowspan="2">165,000</td><td>1年次</td><td>300,000</td></tr>
<tr><td>2年次以降</td><td>460,000</td></tr>
</table>

4. 医療技術学科の学生は、病院実習等の実習費として100,000円を3、4年次に分割して納入する。

別表XI（教職特別課程の納付金）

（単位：円）

入学検定料	入学金	授業料	その他納付金	
			実験実習費	施設設備費
35,000	60,000	845,000	165,000	420,000

別表XII（科目等履修生の納付金）

（単位：円）

入学検定料	入学金	一単位当たりの履修料	
		講義科目演習科目	実験実習科目
12,000	22,000	19,000	24,000